

**第 6 次泉南市総合計画策定にかかる
市民意識調査・小中学生調査
結果報告書**

令和 3 年 7 月
泉 南 市

目 次

◇市民対象調査	1
第1章 調査の概要	2
1 調査の目的	2
2 調査設計	2
3 回収結果	2
4 報告書の見方	2
5 調査結果の概要	3
第2章 調査の結果	5
1 回答者自身について	5
2 今後の定住意向について	8
3 市の主な施策について	16
4 満足度・重要性によるまちづくりの取組の評価	18
5 まちづくりの課題について	26
6 市のまちづくりの方向性について	44
◇小中学生対象調査	47
第1章 調査の概要	48
1 調査の目的	48
2 調査設計	48
3 回収結果	48
4 報告書の見方	48
第2章 調査の結果	49

◇市民対象調査

第1章 調査の概要

1 調査の目的

泉南市では、新たなまちづくりの指針となる「第6次泉南市総合計画」の策定に向けた検討を進めています。この計画は、今後の本市のまちづくりの方向性を示す長期的な計画であり、本市が目指すべき将来像とその実現のための政策などを定めた計画となります。

本調査は、市民の皆さまのご意見を計画づくりに反映するために実施するものです。

2 調査設計

○調査地域 : 泉南市

○調査対象者 : 市民…3,000人

→市内に在住している18歳以上の市民から無作為抽出

○調査時期 : 令和3年1月

○調査方法 : 調査票による本人記入方式

→郵送配布・郵送回収及びWEB回答

3 回収結果

配布数 (A)	有効回収数 (B)	有効回収率 (B/A)
3,000	1,069	35.6%

4 報告書の見方

○回答結果の割合「%」は、小数点以下第2位で四捨五入したものです。このため、合計値が100.0%にならない場合があります。

○複数回答形式（2つ以上の選択肢を選ぶ形式）の場合、合計は100.0%を超えます。

○図表中の「不明・無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

○図表中の「N」（サンプル数）は、有効標本数（集計対象者総数）、あるいは分類別の該当対象者数を示しています。

○本文中の設問の選択肢について、文字数が多いものは簡略化している場合があります。

5 調査結果の概要

(1) 回答者自身について

【女性が過半数、居住年数は20年以上が7割を占め、家族構成では「2世代が同居(親と子)」が最も多い】

- 性別は「女性」が57.5%、「男性」が41.7%
- 年齢は「70歳代」が多く、次いで「30歳代」
- 居住地域は「JR阪和線より山側の地域」が最も高く、次いで「堺阪南線(旧26号線)より海側の地域」
- 居住年数は「20年以上」が7割程度
- 家族構成は「2世代が同居(親と子)」が半数以上

(2) 泉南市の住みごころや定住意向について

【住みよいと回答した人は全体の6割以上を占める】

- 『住みよい』(「住みよい」「まあまあ住みよい」の合計)と回答した人は全体の67.1%、『住みにくい』(「住みにくい」「あまり住みよいとはいえない」の合計)と回答した人は15.8%

【定住意向を持つ人は約6割。住み続けたくないと思う人は約1割】

- 『住み続けたい』(「ずっと住み続けたい」「できれば住み続けたい」の合計)と回答した人は64.4%、『住み続けたくない』(「住み続けたくない」「できれば住み続けたくない」の合計)と回答した人は11.7%

(3) 泉南市の取組に対する満足度と今後の重要性について

【満足度、今後の重要性ともに「医療・健康」が最も高い】

- 満足度(「やや満足」「満足」の合計)についてみると、「医療・健康」が最も高く、次いで「教育」、「子育て支援」
- 今後の重要性(「やや重要」「重要」の合計)をみると、「医療・健康」が最も高く、次いで「インフラ・交通・景観」、「福祉」「防犯・交通安全」

(4) まちづくりの課題について

【ウィズコロナ、アフターコロナのまちづくりについて】

- 新型コロナウイルス感染症の影響による、困りごとについてみると、「人との交流機会の減少」が最も高く、次いで「買い物等の外出の減少」
- ウィズコロナ、アフターコロナ社会の中で、泉南市が力を入れるべきことについてみると、「地域における医療体制の確保」が最も高く、次いで「感染リスクを低下させる暮らし方の浸透(マスク着用、3密回避等)」

【人権について】

- 人権問題について日常生活や身のまわりで守られていないと思うものについてみると、「インターネットやSNS上の人権」が最も高く、次いで「病気、感染症等の患者やその家族の人権」

【SDGsについて】

- SDGsの17の目標のうち、泉南市ではどの分野に力を入れるべきだと思うかについてみると、「すべての人の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」が最も高く、次いで「すべての子どもに質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」

【デジタル化(スマートシティ)の推進について】

- デジタル化が進むことでどんな変化を期待するかについてみると、「災害時におけるリアルタイムの情報提供による被害の最小化」が最も高く、次いで「医療や健康に関するデータを活用した病気の早期発見や健康づくりの最適化」

【地域活性化について】

- 泉南市のまちづくりの活性化を進めるために、重点を置くべきことについてみると、「道路整備・公共交通の充実」が最も高く、次いで「魅力ある商業・サービス業の振興」

【子育て・教育について】

- 重点を置くべき子育て支援についてみると、「学校施設などにおける子どもを取り巻く教育環境の充実」が最も高く、次いで「幼稚園・保育所など、施設の充実」
- 重点を置くべき教育についてみると、「生きる力の育成（子ども自らが学び、課題を見つけ、問題を解決していく能力など）」が最も高く、次いで「基礎学力の充実（将来の社会生活に最低限必要な学力を高めることなど）」

（５）市のまちづくりの方向性について

【理想とする泉南市の将来をイメージする言葉について】

- 理想とする泉南市の将来をイメージする言葉については、287件（回収数の26.8%）の回答があり、「自然」に関する内容が最も多く、次いで「海」、「安心」に関する内容

【泉南市のまちづくりに関するご意見ご提案について】

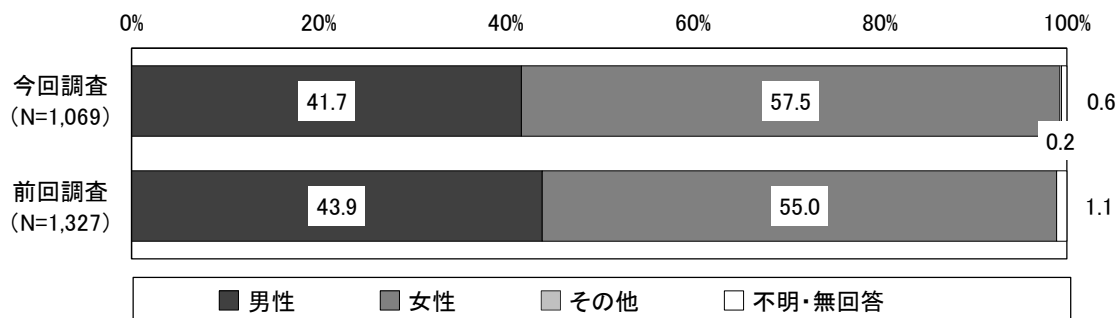
- 泉南市のまちづくりに関するご意見ご提案については、「行財政」に関する内容が最も多く、次いで「まちの全体像」に関する内容

第2章 調査の結果

1 回答者自身について

問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

回答者の性別は、「女性」が57.5%、「男性」が41.7%、「その他」が0.2%となっています。前回調査では、「女性」が55.0%、「男性」が43.9%となっています。

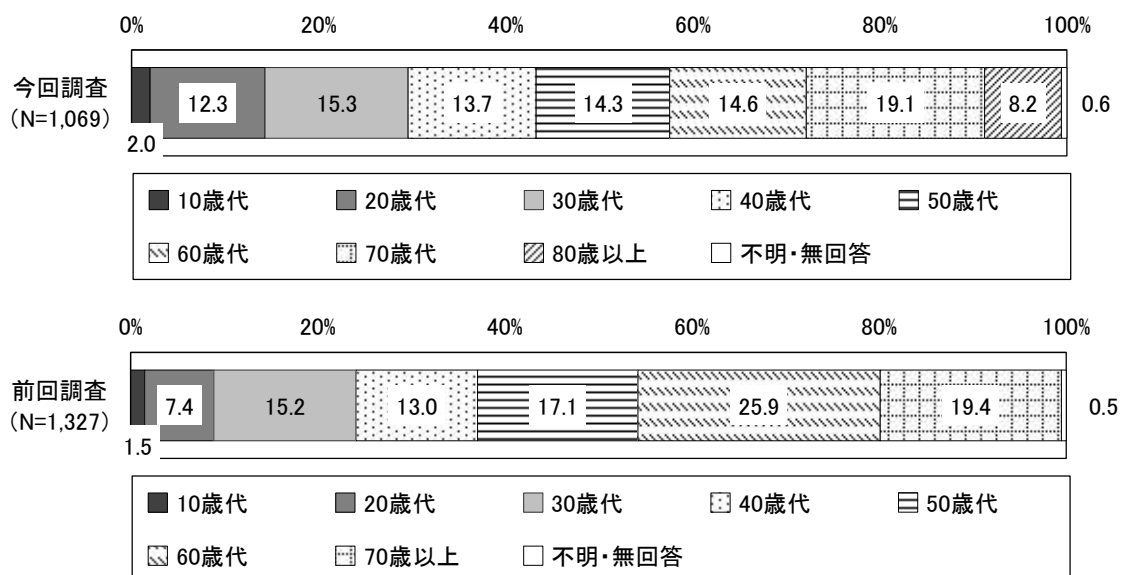


※「その他」は今回調査のみの選択肢

問2 あなたの年代は次のどれですか。(○は1つ)

回答者の年代は、「70歳代」が19.1%と最も高く、次いで「30歳代」が15.3%、「60歳代」が14.6%となっています。

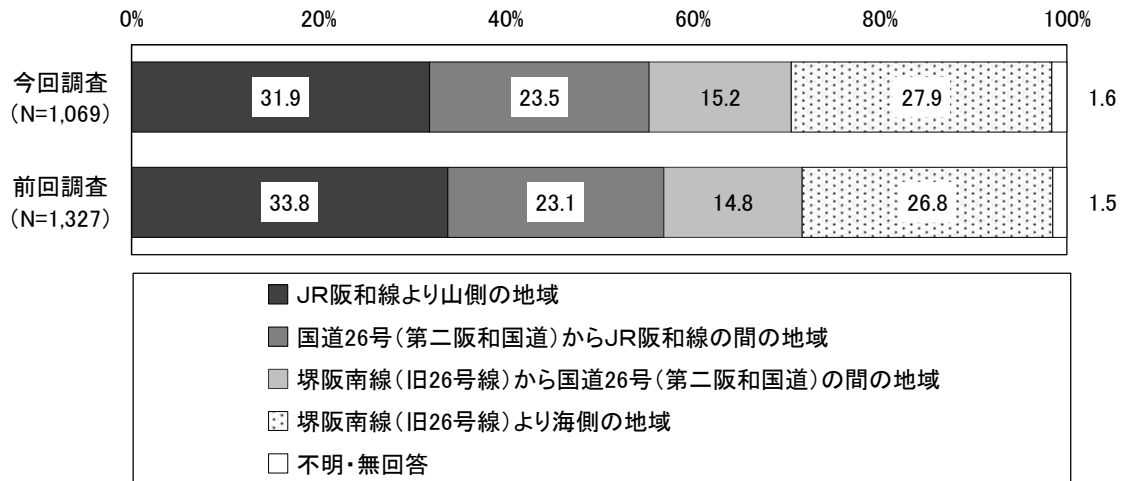
前回調査との比較では、「60歳代」と回答した人は前回調査より11.3ポイント減少しています。一方、「20歳代」と回答した人は4.9ポイント増加しています。



問3 あなたが住んでいる地域は次のどれですか。(〇は1つ)

回答者の居住地域は、「JR阪和線より山側の地域」が31.9%と最も高く、次いで「堺阪南線(旧26号線)より海側の地域」が27.9%、「国道26号(第二阪和国道)からJR阪和線の間」の地域」が23.5%となっています。

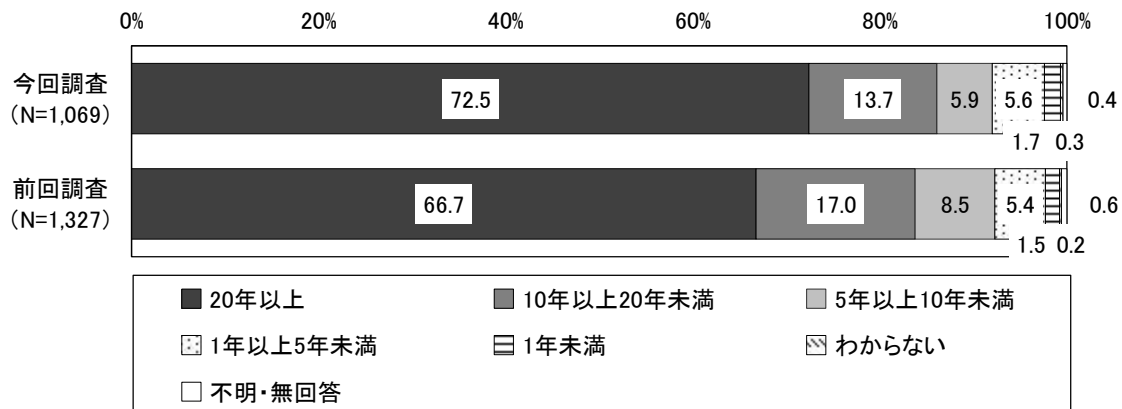
前回調査との比較では、大きな変化はみられません。



問4 あなたは泉南市に住んで何年になりますか。(〇は1つ)

回答者の居住年数は、「20年以上」が72.5%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」が13.7%、「5年以上10年未満」が5.9%となっています。

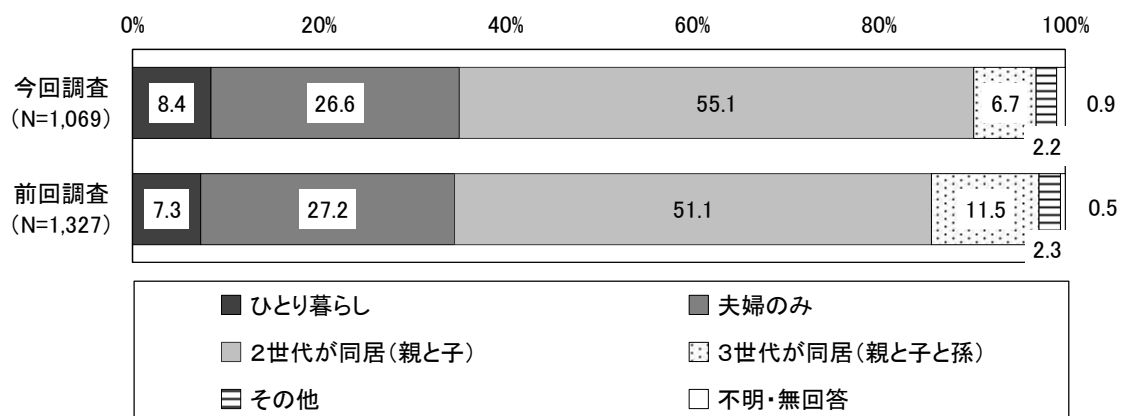
前回調査との比較では、「20年以上」と回答した人は前回調査より5.8ポイント増加しています。一方、「10年以上20年未満」と回答した人は3.3ポイント減少しています。



問5 あなたの家族構成はどのようになっていますか。(〇は1つ)

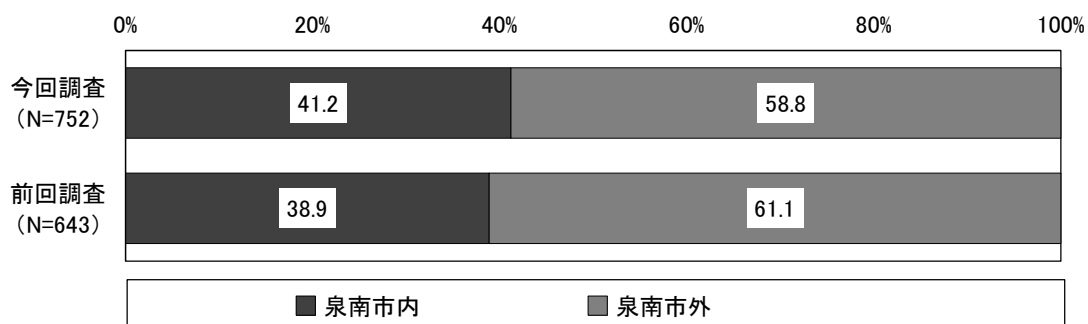
回答者の家族構成は、「2世代が同居（親と子）」が55.1%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が26.6%、「ひとり暮らし」が8.4%となっています。

前回調査との比較では、「3世代が同居（親と子と孫）」と回答した人は前回調査より4.8ポイント減少しています。一方、「2世代が同居（親と子）」と回答した人は4.0ポイント増加しています。



問6 あなたの通勤(通学)場所はどこですか。(〇は1つ)

回答者の通勤(通学)場所は、「泉南市内」が41.2%、「泉南市外」が58.8%となっています。前回調査との比較では、大きな変化はみられません。



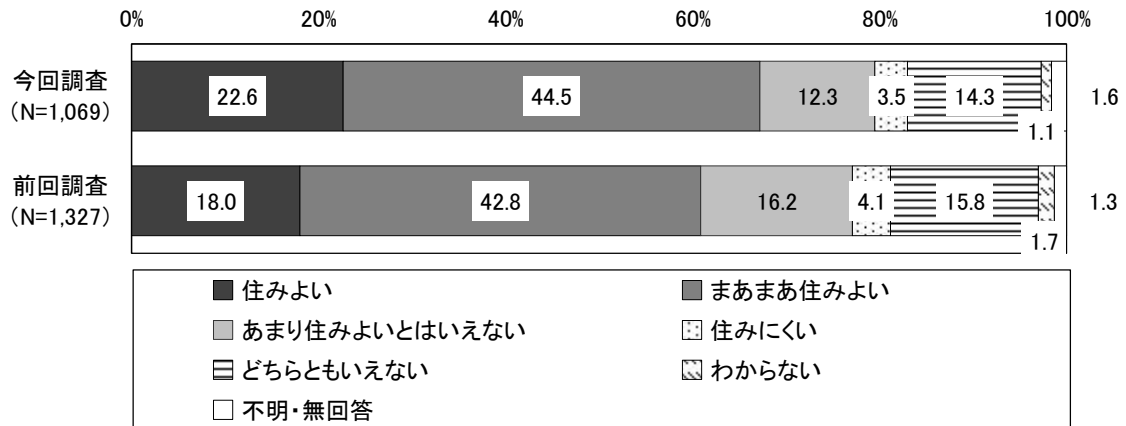
※今回調査・前回調査ともに「不明・無回答」を省いて集計している。

2 今後の定住意向について

問7 あなたにとって、泉南市は住みよいまちですか。(〇は1つ)

住みよさについてみると、『住みよい』（「住みよい」「まあまあ住みよい」の合計）と回答した人は67.1%となっています。一方、『住みにくい』（「住みにくい」「あまり住みよいとはいえない」の合計）と回答した人は15.8%となっています。

前回調査との比較では、『住みよい』と回答した人は前回調査より6.3ポイント増加しています。一方、『住みにくい』と回答した人は4.5ポイント減少しています。

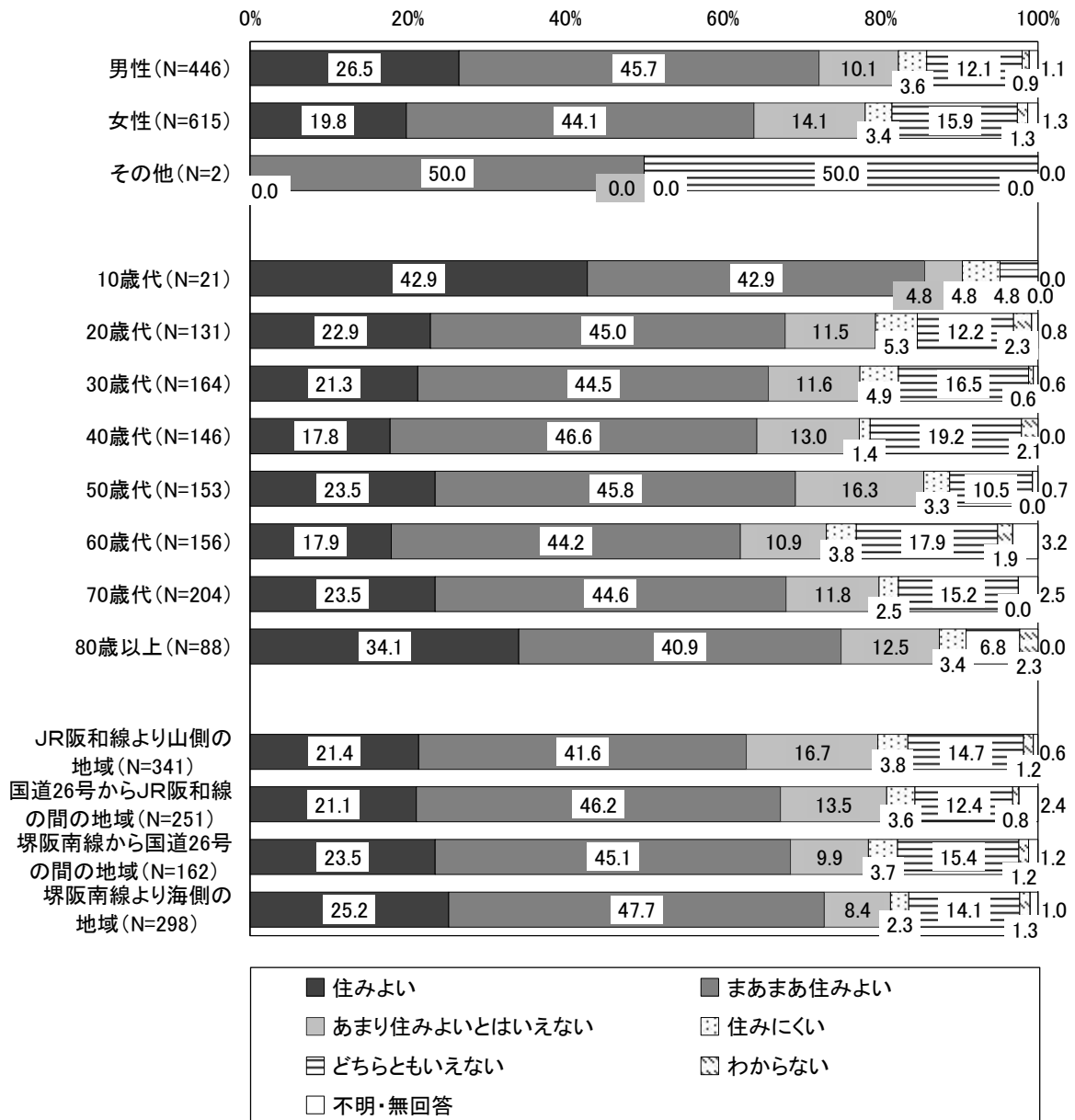


問7 性別・年齢別・地域別

性別にみると、『住みよい』（「住みよい」「まあまあ住みよい」の合計）では女性よりも男性が8.3ポイント上回っています。

年齢別にみると、10歳代では『住みよい』が85.8%と他の世代に比べて高くなっています。40歳代、60歳代では「住みよい」が他の年代に比べて低くなっています。

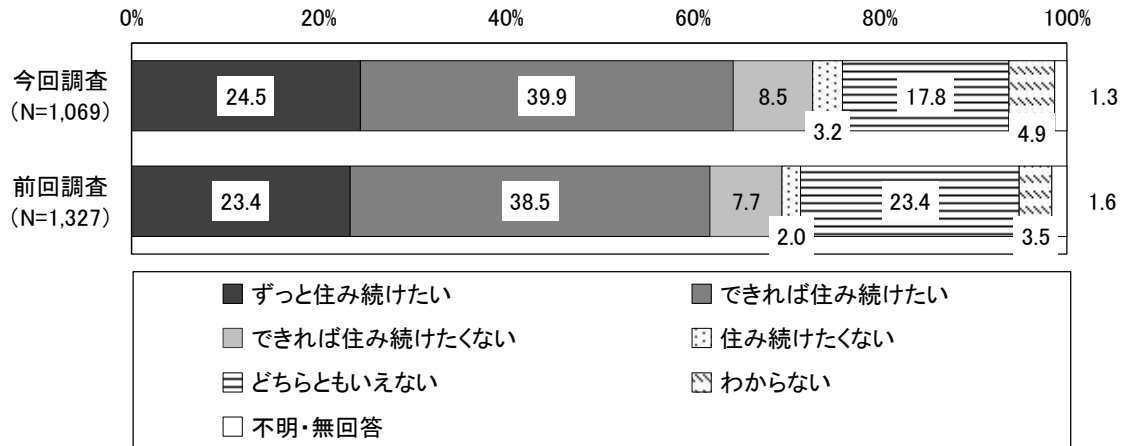
地域別にみると、海側に近づくにつれて『住みよい』が増加しています。



問8 あなたは今後も泉南市で住み続けたいですか。(○は1つ)

今後の居留意向についてみると、『住み続けたい』（「ずっと住み続けたい」「できれば住み続けたい」の合計）と回答した人は64.4%となっています。一方、『住み続けたくない』（「住み続けたくない」「できれば住み続けたくない」の合計）と回答した人は11.7%となっています。

前回調査との比較では、『住み続けたい』と回答した人は前回調査より2.5ポイント増加しています。また、『住み続けたくない』と回答した人は2.0ポイント増加しています。

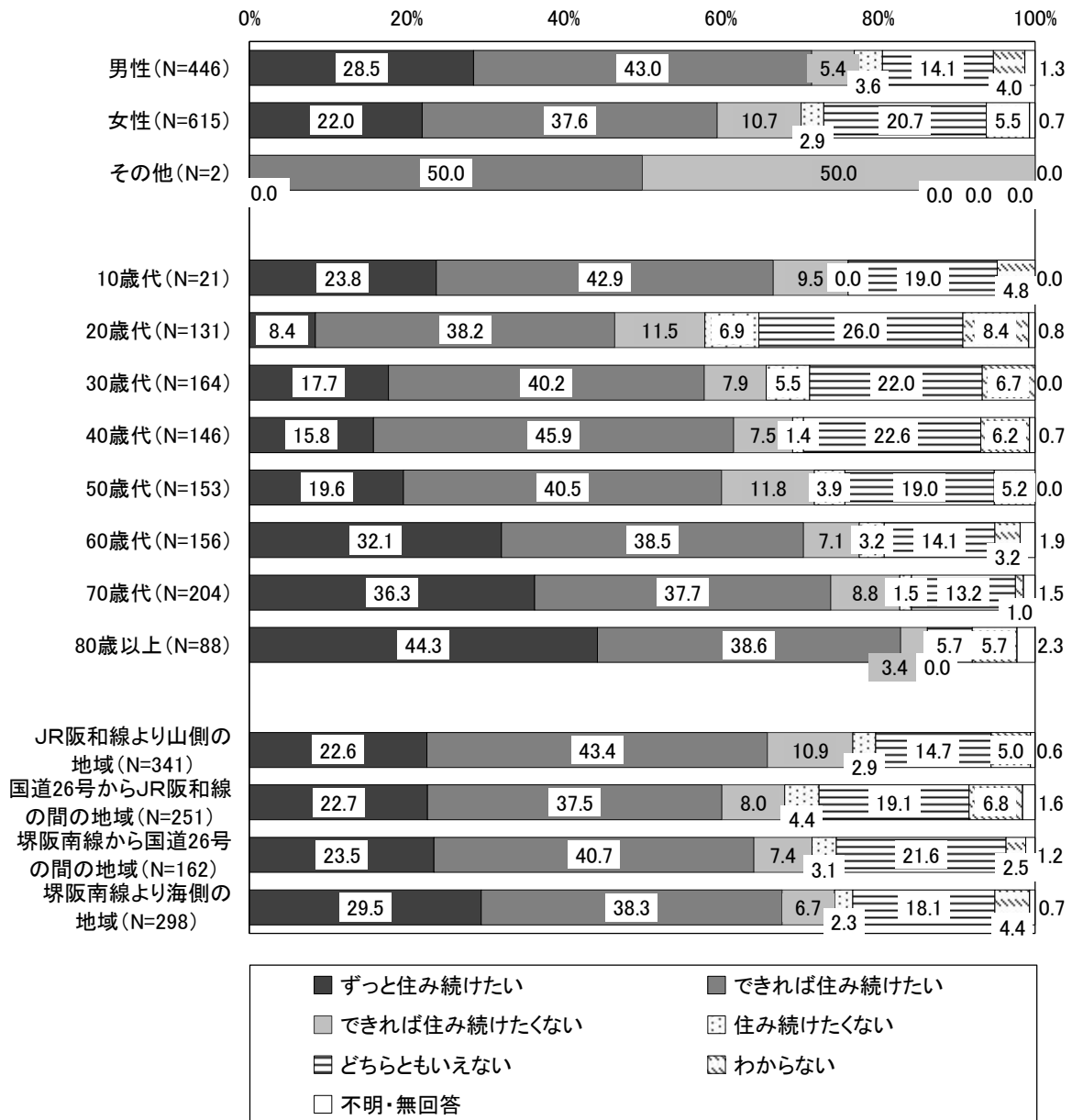


問8 性別・年齢別・地域別

性別にみると、『住み続けたい』（「ずっと住み続けたい」「できれば住み続けたい」の合計）では男性が女性より 11.9 ポイント上回っています。

年齢別にみると、20 歳代から概ね年代が上がるにつれて『住み続けたい』が増加しています。

地域別にみると、国道 26 号から JR 阪和線の間地域では『住み続けたい』が他の地域に比べて低くなっています。

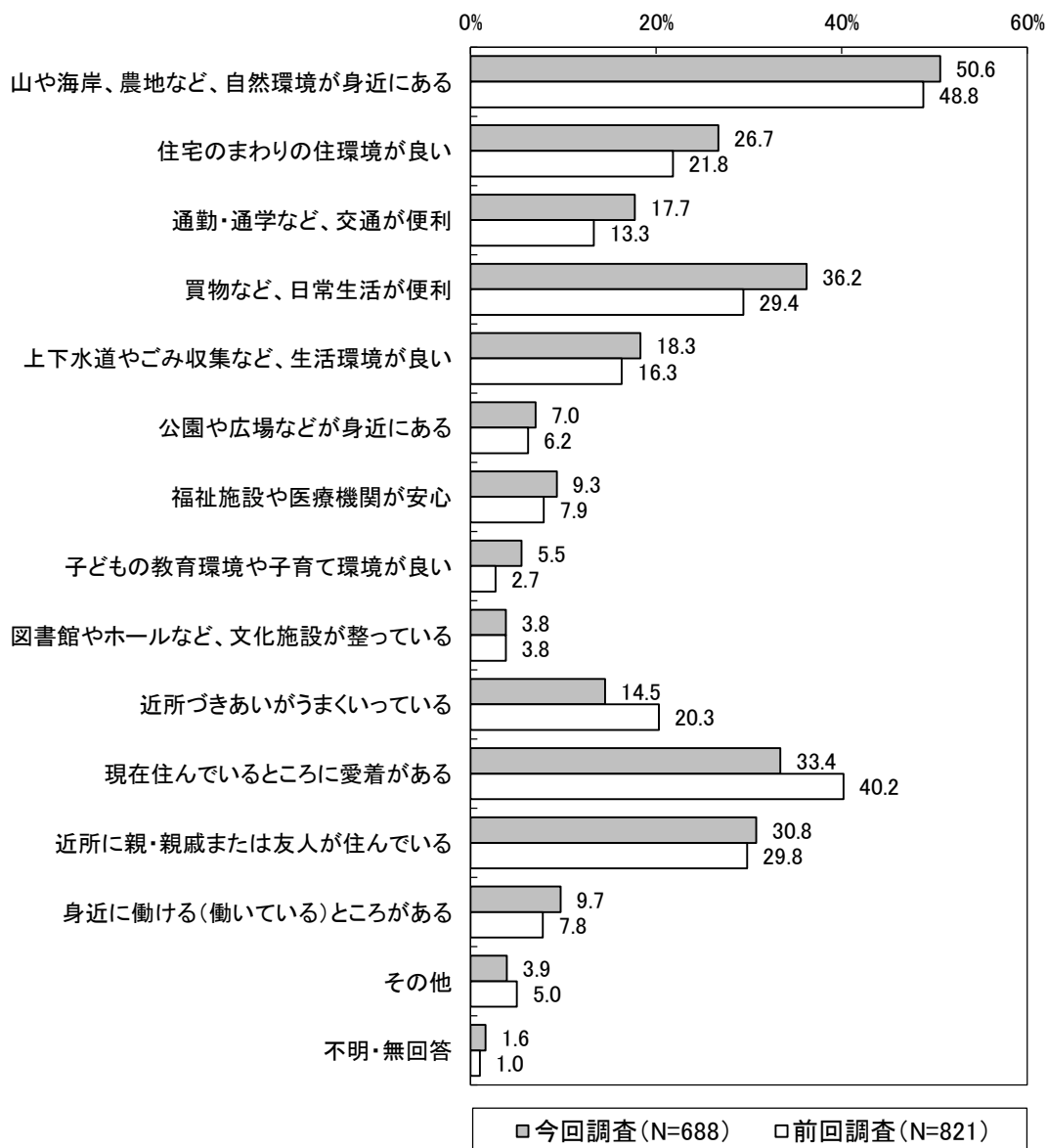


問8で「ずっと住みたい」または「できれば住みたい」と答えた方にお尋ねします。

問8-1 住みたい理由はなんですか。(〇は3つまで)

『住みたい』と回答した理由をみると、「山や海岸、農地など、自然環境が身近にある」が50.6%と最も高く、次いで「買物など、日常生活が便利」が36.2%、「現在住んでいるところに愛着がある」が33.4%となっています。

前回調査との比較では、「買物など、日常生活が便利」と回答した人は前回調査より6.8ポイント増加しています。一方、「現在住んでいるところに愛着がある」と回答した人は6.8ポイント減少しています。



■問8-1 性別・年齢別・地域別

性別にみると、「山や海岸、農地など、自然環境が身近にある」では男性が女性よりも8.2ポイント上回っています。

年齢別にみると、10歳代では「山や海岸、農地など、自然環境が身近にある」「通勤・通学など、交通が便利」「買物など、日常生活が便利」「近所に親・親戚または友人が住んでいる」、20歳代、40～70歳代では「山や海岸、農地など、自然環境が身近にある」、30歳代では「買い物など、日常生活が便利」「近所に親・親戚または友人が住んでいる」、80歳以上では「上下水道やごみ収集など、生活環境が良い」が最も高くなっています。

地域別にみると、堺阪南線から国道26号の間の地域では「買い物など、日常生活が便利」が他の地域に比べて高くなっています。

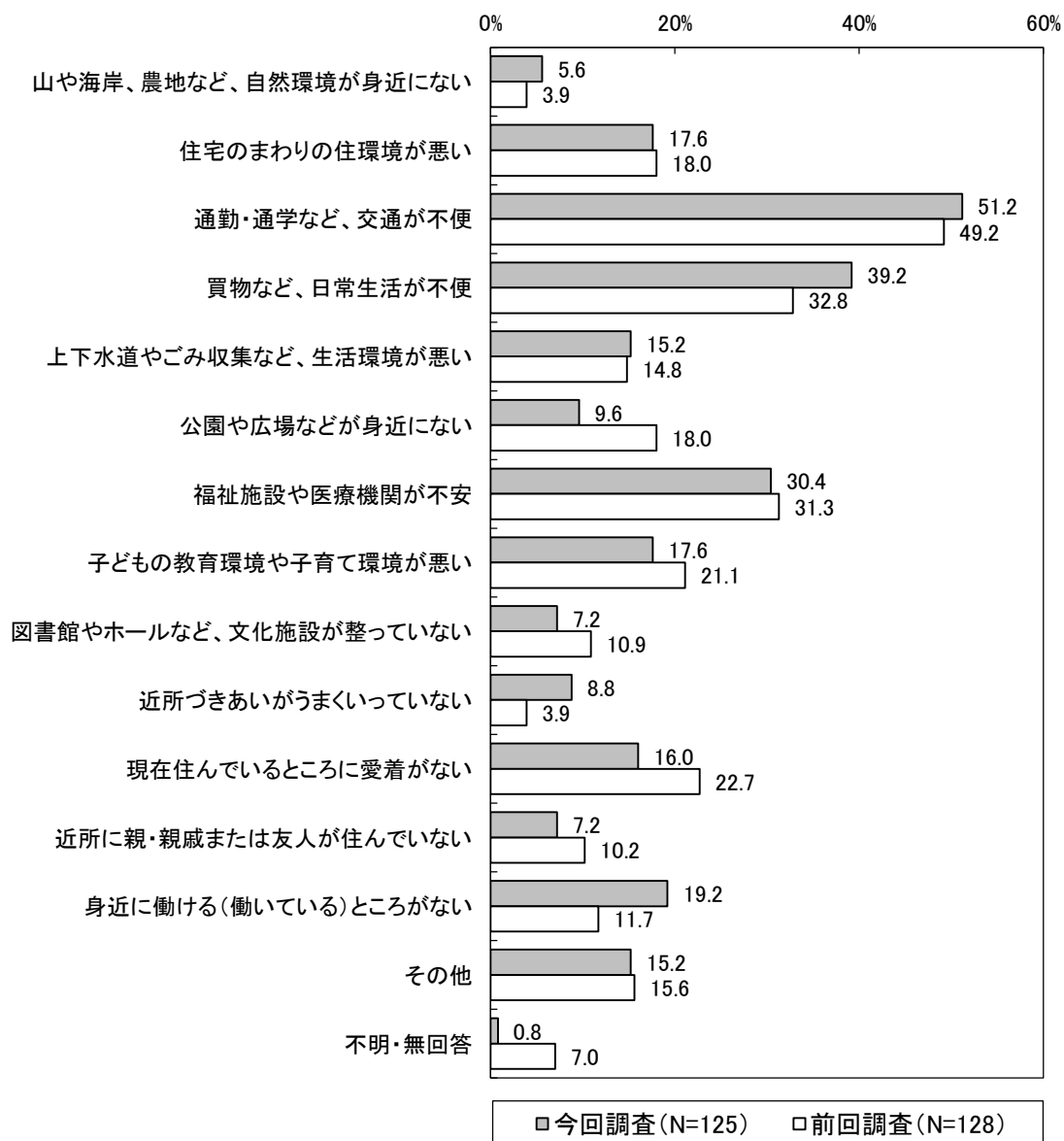
上段:度数 下段:%	山や海岸、農地など、自然環境が身近にある	住宅のまわりの住環境が良い	通勤・通学など、交通が便利	買物など、日常生活が便利	上下水道やごみ収集など、生活環境が良い	公園や広場などが身近にある	福祉施設や医療機関が安心	子どもの教育環境や子育て環境が良い	図書館やホールなど、文化施設が整っている	近所づきあいがうまくいっている	現在住んでいるところに愛着がある	近所に親・親戚または友人が住んでいる	身近に働ける(働いている)ところがある	その他	不明・無回答
男性(N=319)	175 54.9	88 27.6	68 21.3	110 34.5	57 17.9	25 7.8	25 7.8	12 3.8	11 3.4	31 9.7	102 32.0	96 30.1	33 10.3	11 3.4	5 1.6
女性(N=366)	171 46.7	95 26.0	53 14.5	138 37.7	69 18.9	23 6.3	39 10.7	25 6.8	14 3.8	69 18.9	126 34.4	116 31.7	34 9.3	16 4.4	6 1.6
その他(N=1)	-	-	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-
10歳代(N=14)	6 42.9	4 28.6	6 42.9	6 42.9	1 7.1	2 14.3	1 7.1	1 7.1	-	-	4 28.6	6 42.9	2 14.3	1 7.1	-
20歳代(N=61)	33 54.1	14 23.0	15 24.6	27 44.3	4 6.6	10 16.4	4 6.6	5 8.2	2 3.3	3 4.9	22 36.1	23 37.7	7 11.5	3 4.9	-
30歳代(N=95)	42 44.2	32 33.7	14 14.7	44 46.3	4 4.2	6 6.3	5 5.3	8 8.4	3 3.2	12 12.6	28 29.5	44 46.3	12 12.6	8 8.4	-
40歳代(N=90)	44 48.9	26 28.9	25 27.8	38 42.2	8 8.9	4 4.4	6 6.7	12 13.3	2 2.2	10 11.1	25 27.8	24 26.7	11 12.2	2 2.2	1 1.1
50歳代(N=92)	36 39.1	18 19.6	20 21.7	33 35.9	9 9.8	4 4.3	3 3.3	5 5.4	4 4.3	18 19.6	26 28.3	33 35.9	17 18.5	4 4.3	1 1.1
60歳代(N=110)	60 54.5	27 24.5	18 16.4	34 30.9	11 10.0	6 5.5	5 4.5	3 2.7	3 2.7	15 13.6	44 40.0	35 31.8	12 10.9	8 7.3	3 2.7
70歳代(N=151)	97 64.2	40 26.5	18 11.9	48 31.8	58 38.4	12 7.9	25 16.6	3 2.0	7 4.6	31 20.5	57 37.7	30 19.9	5 3.3	1 0.7	3 2.0
80歳以上(N=73)	30 41.1	23 31.5	6 8.2	19 26.0	31 42.5	4 5.5	15 20.5	1 1.4	5 6.8	11 15.1	23 31.5	16 21.9	1 1.4	-	3 4.1
JR阪和線より山側の地域(N=225)	130 57.8	78 34.7	29 12.9	60 26.7	42 18.7	17 7.6	24 10.7	11 4.9	6 2.7	40 17.8	79 35.1	65 28.9	19 8.4	8 3.6	5 2.2
国道26号からJR阪和線 の間の地域(N=151)	66 43.7	40 26.5	30 19.9	52 34.4	27 17.9	8 5.3	6 4.0	12 7.9	8 5.3	21 13.9	56 37.1	52 34.4	13 8.6	5 3.3	2 1.3
堺阪南線から国道26号 の間の地域(N=104)	48 46.2	26 25.0	13 12.5	48 46.2	13 12.5	8 7.7	17 16.3	7 6.7	2 1.9	10 9.6	32 30.8	29 27.9	15 14.4	4 3.8	2 1.9
堺阪南線より海側の 地域(N=202)	102 50.5	39 19.3	49 24.3	87 43.1	43 21.3	13 6.4	17 8.4	6 3.0	9 4.5	29 14.4	62 30.7	63 31.2	20 9.9	10 5.0	2 1.0

問8で「できれば住み続けたくない」または「住み続けたくない」と答えた方にお尋ねします。

問8-2 住み続けたくない理由はなんですか。(〇は3つまで)

『住み続けたくない』と回答した理由をみると、「通勤・通学など、交通が不便」が51.2%と最も高く、次いで「買物など、日常生活が不便」が39.2%、「福祉施設や医療機関が不安」が30.4%となっています。

前回調査との比較では、「公園や広場などが身近にない」と回答した人は前回調査より8.4ポイント減少しています。一方、「身近に働ける(働いている)ところがない」と回答した人は7.5ポイント増加しています。



■問8-2 性別・年齢別・地域別

性別にみると、「買物など、日常生活が不便」では女性が男性よりも20.2ポイント高くなっています。

年齢別にみると、20歳代、40～50歳代では「通勤・通学など、交通が不便」、30歳代では「子どもの教育環境や子育て環境が悪い」、60歳代では「福祉施設や医療機関が不安」、70歳以上では「買物など、日常生活が不便」が最も高くなっています。

地域別にみると、堺阪南線から国道26号の間の地域では「買物など、日常生活が不便」が他の地区に比べて低くなっています。

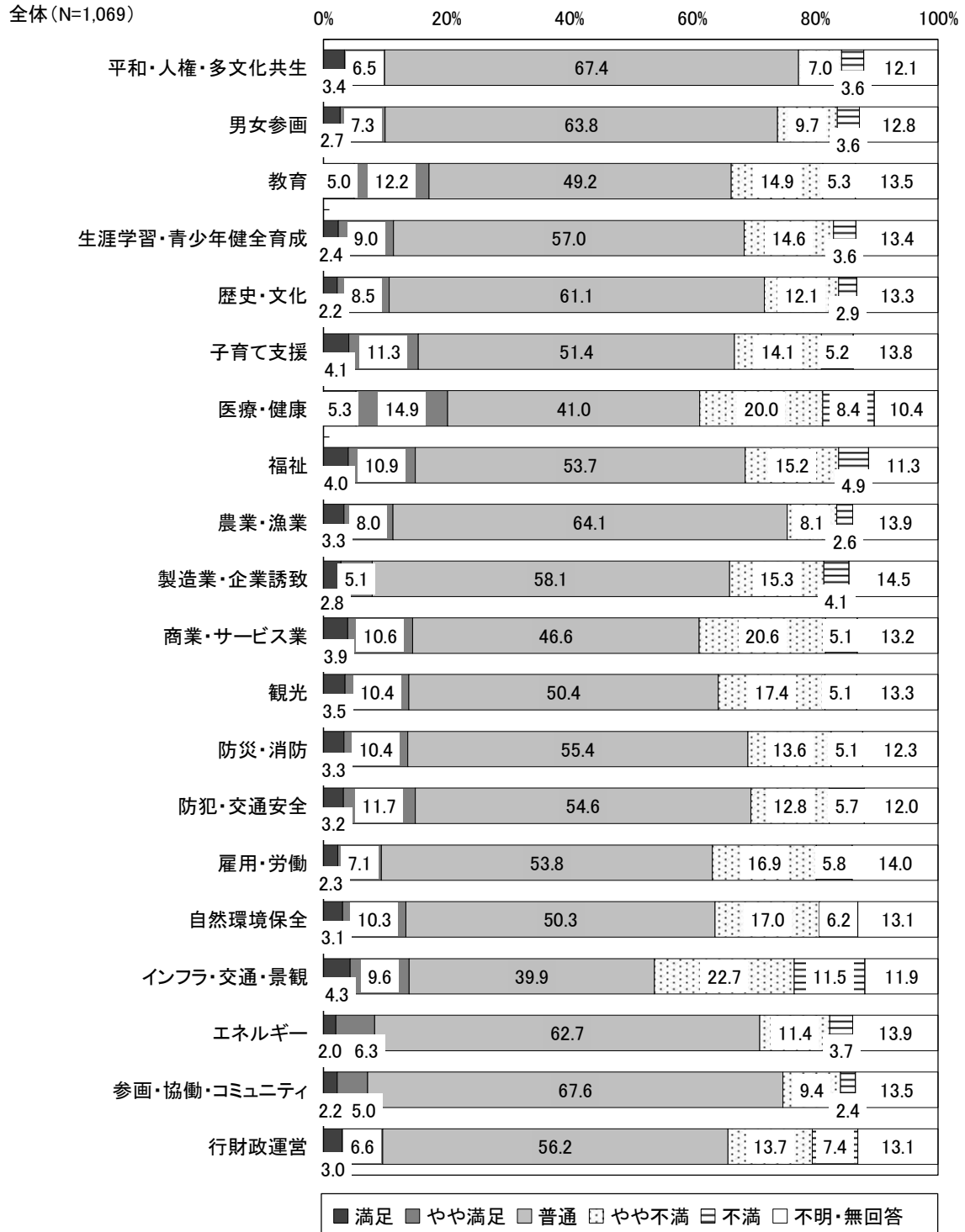
上段:度数 下段:%	山や海岸、農地など、自然環境が身近にない	住宅のまわりの住環境が悪い	通勤・通学など、交通が不便	買物など、日常生活が不便	上下水道やごみ収集など、生活環境が悪い	公園や広場などが身近にない	福祉施設や医療機関が不安	子どもの教育環境や子育て環境が悪い	図書館やホールなど、文化施設が整っていない	近所づきあいがうまくいっていない	現在住んでいるところに愛着がない	近所に親・親戚または友人が住んでいない	身近に働ける(働いている)ところがない	その他	不明・無回答
男性(N=40)	4 10.0	10 25.0	18 45.0	10 25.0	4 10.0	4 10.0	12 30.0	7 17.5	1 2.5	3 7.5	4 10.0	1 2.5	8 20.0	10 25.0	1 2.5
女性(N=84)	3 3.6	12 14.3	46 54.8	38 45.2	15 17.9	8 9.5	26 31.0	15 17.9	8 9.5	7 8.3	15 17.9	8 9.5	16 19.0	9 10.7	-
その他(N=1)	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-
10歳代(N=2)	-	-	1 50.0	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2 100.0	-	-
20歳代(N=24)	1 4.2	4 16.7	18 75.0	3 12.5	2 8.3	1 4.2	4 16.7	6 25.0	4 16.7	-	6 25.0	-	8 33.3	3 12.5	-
30歳代(N=22)	-	6 27.3	8 36.4	3 13.6	4 18.2	6 27.3	7 31.8	11 50.0	3 13.6	2 9.1	1 4.5	-	4 18.2	5 22.7	-
40歳代(N=13)	-	3 23.1	7 53.8	5 38.5	2 15.4	-	15.4	15.4	-	2 15.4	2 15.4	1 7.7	3 23.1	3 23.1	-
50歳代(N=24)	3 12.5	2 8.3	14 58.3	9 37.5	4 16.7	1 4.2	4 16.7	2 8.3	1 4.2	3 12.5	4 16.7	4 16.7	4 16.7	6 25.0	1 4.2
60歳代(N=16)	2 12.5	2 12.5	7 43.8	8 50.0	4 25.0	2 12.5	10 62.5	-	-	3 18.8	4 25.0	1 6.3	1 6.3	-	-
70歳代(N=21)	1 4.8	5 23.8	7 33.3	16 76.2	3 14.3	2 9.5	11 52.4	1 4.8	-	1 4.8	2 9.5	3 14.3	2 9.5	2 9.5	-
80歳以上(N=3)	-	-	2 66.7	3 100.0	-	-	-	-	1 33.3	-	1 33.3	-	-	-	-
JR阪和線より山側の地域(N=47)	2 4.3	10 21.3	26 55.3	22 46.8	5 10.6	3 6.4	14 29.8	5 10.6	2 4.3	4 8.5	6 12.8	4 8.5	13 27.7	10 21.3	-
国道26号からJR阪和線の間地域(N=31)	2 6.5	5 16.1	17 54.8	15 48.4	8 25.8	4 12.9	11 35.5	9 29.0	3 9.7	3 9.7	3 9.7	1 3.2	1 3.2	5 16.1	-
堺阪南線から国道26号の間地域(N=17)	1 5.9	5 29.4	9 52.9	1 5.9	1 5.9	3 17.6	4 23.5	4 23.5	2 11.8	-	5 29.4	1 5.9	5 29.4	1 5.9	-
堺阪南線より海側の地域(N=27)	2 7.4	2 7.4	11 40.7	10 37.0	5 18.5	1 3.7	9 33.3	4 14.8	2 7.4	3 11.1	5 18.5	2 7.4	4 14.8	3 11.1	1 3.7

3 市の主な施策について

問9 今後新しい総合計画をつくるにあたり、次の各施策について、「①満足度」と「②今後の重要性」についてのお考えをお聞かせください。(〇は①と②それぞれ1つずつ)

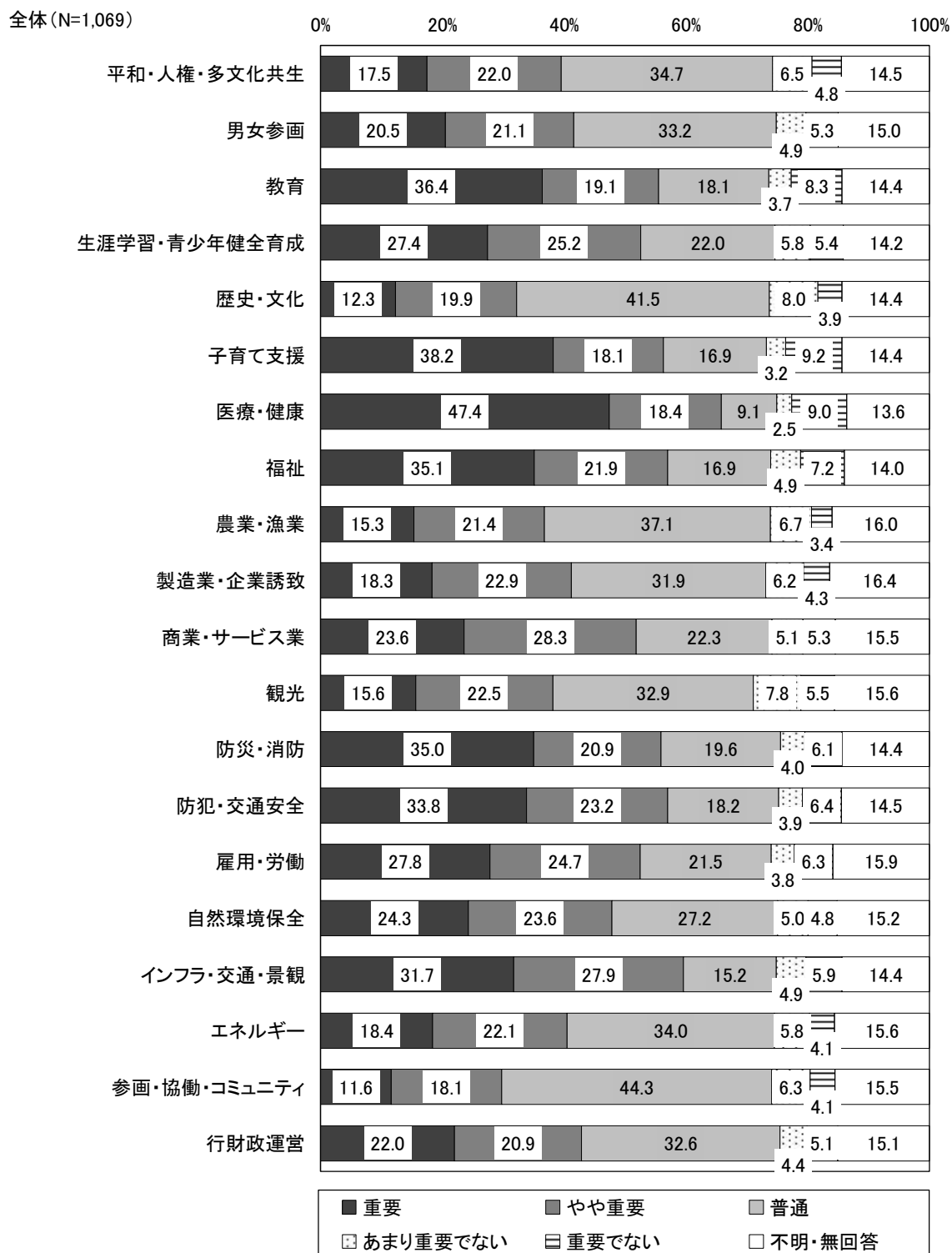
①満足度

満足度（「やや満足」「満足」の合計）についてみると、「医療・健康」が20.2%と最も高く、次いで「教育」が17.2%、「子育て支援」が15.4%となっています。



②今後の重要性

今後の重要性（「やや重要」「重要」の合計）についてみると、「医療・健康」が65.8%と最も高く、次いで「インフラ・交通・景観」が59.6%、「福祉」「防犯・交通安全」が57.0%となっています。



4 満足度・重要性によるまちづくりの取組の評価

問9については、(1)～(20)各項目の①満足度、②今後の重要性ともに5つの選択肢が与えられていますが、これを一元的に把握するために「加重平均点」を求めました。

すなわち、満足度についての選択肢である「満足」「やや満足」「普通」「やや不満」「不満」の各1件につき、それぞれ5点、4点、3点、2点、1点を与えて件数との積を求め、これらを総件数で割った加重平均点数を算出しました。

重要性についても「重要」「やや重要」「普通」「あまり重要でない」「重要でない」の各1件につき、それぞれ5点、4点、3点、2点、1点を与えて件数との積を求め、これらを総件数で割った加重平均点数を算出しました。

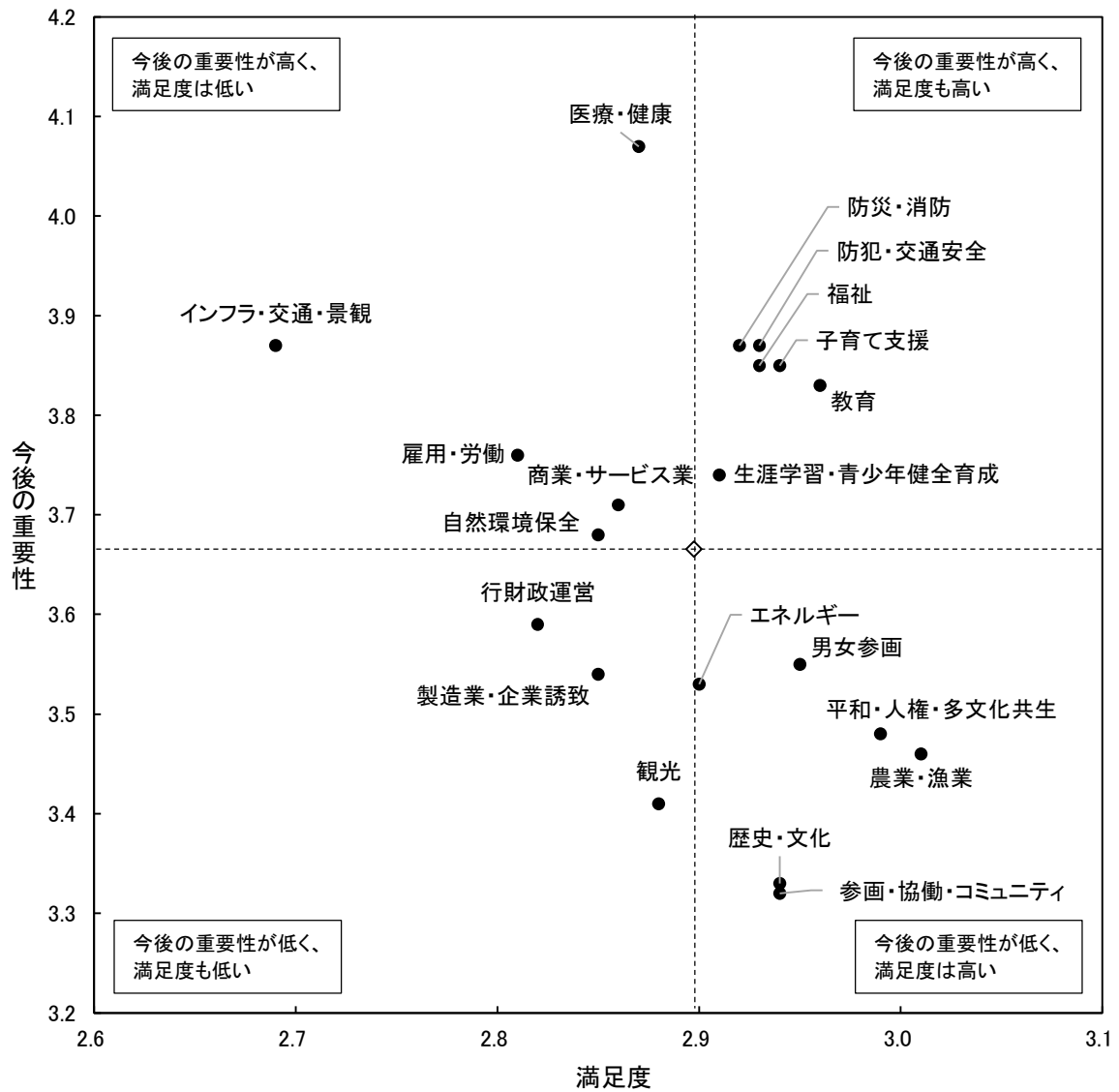
<回答者全体評価>

回答者全体では、満足度は「農業・漁業」が3.01ポイントと最も高く、次いで「平和・人権・多文化共生」が2.99ポイント、「教育」が2.96ポイントとなっています。

今後の重要性は「医療・健康」が4.07ポイントと最も高く、次いで「防災・消防」「防犯・交通安全」「インフラ・交通・景観」がともに3.87ポイントとなっています。

項目	満足度	今後の重要性
平和・人権・多文化共生	2.99	3.48
男女参画	2.95	3.55
教育	2.96	3.83
生涯学習・青少年健全育成	2.91	3.74
歴史・文化	2.94	3.33
子育て支援	2.94	3.85
医療・健康	2.87	4.07
福祉	2.93	3.85
農業・漁業	3.01	3.46
製造業・企業誘致	2.85	3.54
商業・サービス業	2.86	3.71
観光	2.88	3.41
防災・消防	2.92	3.87
防犯・交通安全	2.93	3.87
雇用・労働	2.81	3.76
自然環境保全	2.85	3.68
インフラ・交通・景観	2.69	3.87
エネルギー	2.90	3.53
参画・協働・コミュニティ	2.94	3.32
行財政運営	2.82	3.59
平均点	2.90	3.67

【散布図 全体】



<前回調査との比較／満足度・全体>

満足度について前回調査と比較すると、今回調査は「農業・漁業」が最も高く、次いで「平和・人権・多文化共生」、「教育」となっているのに対し、前回調査は「消防・救急体制の充実」が最も高く、次いで「広報・公聴の充実」、「生涯スポーツの振興」となっています。

【前回調査比較 満足度】

今回	
順位	項目
1	農業・漁業
2	平和・人権・多文化共生
3	教育
4	男女参画
5	参画・協働・コミュニティ
5	歴史・文化
5	子育て支援
8	福祉
8	防犯・交通安全
10	防災・消防
11	生涯学習・青少年健全育成
12	エネルギー
13	観光
14	医療・健康
15	商業・サービス業
16	自然環境保全
16	製造業・企業誘致
18	行財政運営
19	雇用・労働
20	インフラ・交通・景観

前回	
順位	項目
1	消防・救急体制の充実
2	広報・公聴の充実
3	生涯スポーツの振興
4	水産業の振興
5	歴史的資産の保全と活用
6	環境問題への取り組み
7	防犯対策の充実
8	人権尊重社会の実現
9	水・緑の保全と活用
10	地域福祉の推進
10	公共交通機関の整備と交通安全対策
12	男女共同参画社会の実現
13	ボランティア団体・NPOとの協働
14	障害者福祉の充実
15	多文化共生社会の実現
16	子育て支援の充実
17	情報基盤の整備
18	農林業の振興
19	青少年健全育成の推進
20	生涯学習推進体制の充実
21	防災体制の強化
22	都市景観の創出
23	市民文化活動の振興
24	消費生活の充実
25	高齢者福祉の充実
26	保健・医療の充実
27	公園・緑地の整備
28	国際交流等の推進
29	市民参加の推進
30	観光・レクリエーションの振興
31	商業の振興
32	生活保護制度の適切な運用
33	行政運営の活性化
34	広域行政の推進
35	良好な住環境の整備
36	河川・上下水道の整備
37	保険・年金の充実
38	工業の振興
39	市街地の整備
40	バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり
41	労働生活の充実
42	道路の整備
43	健全な財政運営
44	幼児教育・義務教育の充実
45	広域交流軸の形成と拠点地区の整備

<前回調査との比較／今後の重要性・全体>

今後の重要性について前回調査と比較すると、今回調査は「医療・健康」が最も高く、次いで「防災・消防」「インフラ・交通・景観」「防犯・交通安全」が同率となっているのに対し、前回調査は「保健・医療の充実」が最も高く、次いで「高齢者福祉の充実」、「防犯対策の充実」となっています。

【前回調査比較 今後の重要性】

今回		前回	
順位	項目	順位	項目
1	医療・健康	1	保健・医療の充実
2	防災・消防	2	高齢者福祉の充実
2	インフラ・交通・景観	3	防犯対策の充実
2	防犯・交通安全	4	幼児教育・義務教育の充実
5	子育て支援	5	消防・救急体制の充実
5	福祉	6	防災体制の強化
7	教育	7	子育て支援の充実
8	雇用・労働	8	保険・年金の充実
9	生涯学習・青少年健全育成	9	環境問題への取り組み
10	商業・サービス業	10	河川・上下水道の整備
11	自然環境保全	11	障害者福祉の充実
12	行財政運営	12	公共交通機関の整備と交通安全対策
13	男女参画	13	健全な財政運営
14	製造業・企業誘致	14	青少年健全育成の推進
15	エネルギー	15	バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり
16	平和・人権・多文化共生	16	労働生活の充実
17	農業・漁業	17	工業の振興
18	観光	18	地域福祉の推進
19	歴史・文化	19	広域交流軸の形成と拠点地区の整備
20	参画・協働・コミュニティ	20	水・緑の保全と活用
		21	生涯学習推進体制の充実
		22	消費生活の充実
		23	広域行政の推進
		24	道路の整備
		25	商業の振興
		26	広報・公聴の充実
		27	生涯スポーツの振興
		28	公園・緑地の整備
		29	人権尊重社会の実現
		30	ボランティア団体・NPOとの協働
		31	市街地の整備
		32	行政運営の活性化
		33	観光・レクリエーションの振興
		34	多文化共生社会の実現
		35	農林業の振興
		36	市民参加の推進
		37	水産業の振興
		38	生活保護制度の適切な運用
		39	男女共同参画社会の実現
		40	市民文化活動の振興
		41	情報基盤の整備
		42	都市景観の創出
		43	歴史的資産の保全と活用
		44	良好な住環境の整備
		45	国際交流等の推進

<年齢別／満足度・全体>

満足度について年齢別にみると、平均点では10～20歳代が3.02ポイントと最も高く、50～60歳代が2.85ポイントと最も低くなっています。

【年齢別 満足度】

項目	10～20歳代	30～40歳代	50～60歳代	70歳以上
平和・人権・多文化共生	3.08	2.96	2.92	3.06
男女参画	3.07	2.91	2.91	2.98
教育	3.00	2.88	2.95	3.06
生涯学習・青少年健全育成	2.96	2.86	2.92	2.92
歴史・文化	3.07	2.92	2.92	2.92
子育て支援	3.05	2.84	2.96	2.99
医療・健康	3.08	2.73	2.72	3.09
福祉	3.04	2.85	2.87	3.03
農業・漁業	3.05	3.03	2.99	3.01
製造業・企業誘致	3.01	2.90	2.83	2.72
商業・サービス業	3.13	2.88	2.79	2.73
観光	3.11	2.91	2.85	2.75
防災・消防	3.01	2.87	2.83	3.03
防犯・交通安全	3.00	2.88	2.89	3.02
雇用・労働	2.92	2.80	2.78	2.79
自然環境保全	2.90	2.88	2.79	2.88
インフラ・交通・景観	2.93	2.77	2.52	2.64
エネルギー	3.01	2.95	2.85	2.81
参画・協働・コミュニティ	3.03	2.95	2.94	2.89
行財政運営	3.01	2.81	2.74	2.81
平均点	3.02	2.88	2.85	2.91

<年齢別／今後の重要性・全体>

今後の重要性について年齢別にみると、平均点では70歳以上が3.96ポイントと最も高く、10～20歳代が3.36ポイントと最も低くなっています。

【年齢別 今後の重要性】

項目	10～20歳代	30～40歳代	50～60歳代	70歳以上
平和・人権・多文化共生	3.39	3.40	3.45	3.68
男女参画	3.48	3.45	3.55	3.72
教育	3.57	3.79	3.86	4.03
生涯学習・青少年健全育成	3.44	3.61	3.81	4.03
歴史・文化	3.23	3.12	3.35	3.69
子育て支援	3.53	3.79	3.88	4.12
医療・健康	3.60	3.89	4.22	4.43
福祉	3.41	3.64	4.00	4.22
農業・漁業	3.33	3.34	3.51	3.66
製造業・企業誘致	3.23	3.37	3.63	3.86
商業・サービス業	3.22	3.53	3.85	4.10
観光	3.20	3.33	3.45	3.64
防災・消防	3.42	3.72	3.98	4.25
防犯・交通安全	3.40	3.70	4.04	4.17
雇用・労働	3.41	3.65	3.87	4.01
自然環境保全	3.35	3.55	3.78	3.96
インフラ・交通・景観	3.46	3.65	4.04	4.23
エネルギー	3.31	3.33	3.64	3.83
参画・協働・コミュニティ	3.11	3.18	3.34	3.63
行財政運営	3.13	3.43	3.69	3.98
平均点	3.36	3.52	3.75	3.96

<住みよさ別／満足度・全体>

満足度について住み良さ別にみると、平均点では『住みよい』（「住みよい」「まあまあ住みよい」の合計）が 2.97 ポイント、『住みにくい』（「住みにくい」「あまり住みよいとはいえない」の合計）が 2.66 ポイント、「どちらともいえない」が 2.83 ポイントとなっています。

【住みよさ別 満足度】

項目	『住みよい』	『住みにくい』	どちらとも いえない
平和・人権・多文化共生	3.06	2.74	2.94
男女参画	3.02	2.67	2.96
教育	3.05	2.70	2.85
生涯学習・青少年健全育成	2.97	2.71	2.85
歴史・文化	2.97	2.78	2.99
子育て支援	3.03	2.66	2.89
医療・健康	3.00	2.56	2.64
福祉	3.04	2.62	2.80
農業・漁業	3.08	2.82	2.98
製造業・企業誘致	2.90	2.68	2.84
商業・サービス業	2.94	2.63	2.80
観光	2.95	2.72	2.82
防災・消防	2.99	2.65	2.91
防犯・交通安全	3.03	2.65	2.82
雇用・労働	2.86	2.68	2.73
自然環境保全	2.93	2.63	2.79
インフラ・交通・景観	2.81	2.35	2.52
エネルギー	2.96	2.75	2.80
参画・協働・コミュニティ	2.98	2.79	2.95
行財政運営	2.91	2.49	2.78
平均点	2.97	2.66	2.83

<住みよさ別／今後の重要性・全体>

今後の重要性について住み良さ別にみると、平均点では『住みよい』（「住みよい」「まあまあ住みよい」の合計）が 3.65 ポイント、『住みにくい』（「住みにくい」「あまり住みよいとはいえない」の合計）が 3.69 ポイント、「どちらともいえない」が 3.67 ポイントとなっています。

【住みよさ別 今後の重要性】

項目	『住みよい』	『住みにくい』	どちらとも いえない
平和・人権・多文化共生	3.48	3.42	3.47
男女参画	3.52	3.58	3.61
教育	3.83	3.87	3.80
生涯学習・青少年健全育成	3.72	3.75	3.77
歴史・文化	3.35	3.32	3.26
子育て支援	3.83	3.88	3.87
医療・健康	4.06	4.10	4.08
福祉	3.83	3.87	3.83
農業・漁業	3.47	3.40	3.41
製造業・企業誘致	3.51	3.52	3.61
商業・サービス業	3.67	3.73	3.78
観光	3.41	3.38	3.44
防災・消防	3.87	3.84	3.90
防犯・交通安全	3.84	3.89	3.89
雇用・労働	3.73	3.82	3.79
自然環境保全	3.68	3.69	3.63
インフラ・交通・景観	3.85	3.95	3.85
エネルギー	3.52	3.51	3.55
参画・協働・コミュニティ	3.30	3.43	3.23
行財政運営	3.54	3.79	3.55
平均点	3.65	3.69	3.67

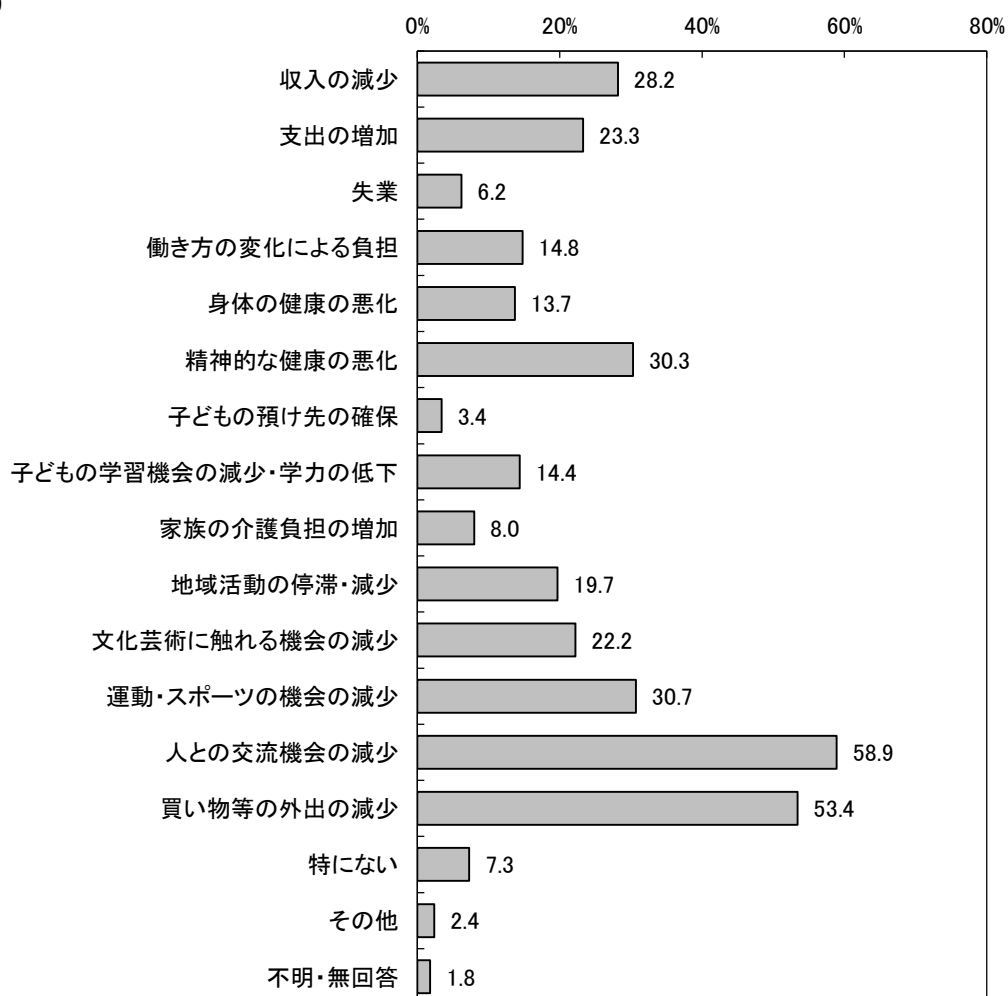
5 まちづくりの課題について

【ウィズコロナ、アフターコロナのまちづくりについて】

問 10 新型コロナウイルス感染症の影響により、生活の中で困りごとがありましたか。
(あてはまるものすべてに○)

新型コロナウイルス感染症の影響による、生活の中で困りごとについてみると、「人との交流機会の減少」が58.9%と最も高く、次いで「買い物等の外出の減少」が53.4%、「運動・スポーツの機会の減少」が30.7%となっています。

N=1,069



問 10 性別・年齢別

性別にみると、「人との交流機会の減少」では女性が男性より 8.4 ポイント高くなっています。
年齢別にみると、すべての年代で「人との交流機会の減少」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	収入の減少	支出の増加	失業	働き方の変化による負担	身体への健康の悪化	精神的な健康の悪化	子どもの預け先の確保	子どもの学力の低下・機会の減少・子どもの学習	家族の介護負担の増加
男性(N=446)	117 26.2	86 19.3	28 6.3	59 13.2	50 11.2	115 25.8	8 1.8	58 13.0	38 8.5
女性(N=615)	181 29.4	161 26.2	37 6.0	98 15.9	96 15.6	205 33.3	27 4.4	94 15.3	44 7.2
その他(N=2)	1 50.0	-	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	1 50.0
10歳代(N=21)	9 42.9	4 19.0	5 23.8	1 4.8	2 9.5	2 9.5	-	3 14.3	-
20歳代(N=131)	62 47.3	34 26.0	19 14.5	28 21.4	13 9.9	44 33.6	3 2.3	10 7.6	9 6.9
30歳代(N=164)	54 32.9	51 31.1	8 4.9	29 17.7	19 11.6	45 27.4	19 11.6	45 27.4	4 2.4
40歳代(N=146)	39 26.7	40 27.4	6 4.1	33 22.6	10 6.8	46 31.5	6 4.1	51 34.9	7 4.8
50歳代(N=153)	57 37.3	38 24.8	11 7.2	37 24.2	21 13.7	44 28.8	3 2.0	25 16.3	16 10.5
60歳代(N=156)	45 28.8	30 19.2	9 5.8	22 14.1	22 14.1	44 28.2	3 1.9	5 3.2	12 7.7
70歳代(N=204)	25 12.3	38 18.6	4 2.0	6 2.9	38 18.6	65 31.9	1 0.5	10 4.9	20 9.8
80歳以上(N=88)	7 8.0	12 13.6	3 3.4	2 2.3	21 23.9	31 35.2	-	3 3.4	14 15.9
上段:度数 下段:%	地域活動の停滞・減少	文化芸術に触れる機会の減少	運動・スポーツの機会の減少	人との交流機会の減少	買い物等の外出の減少	特にな	その他	不明・無回答	
男性(N=446)	87 19.5	86 19.3	132 29.6	241 54.0	207 46.4	41 9.2	13 2.9	9 2.0	
女性(N=615)	123 20.0	150 24.4	193 31.4	384 62.4	357 58.0	37 6.0	13 2.1	10 1.6	
その他(N=2)	-	1 50.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	-	-	-	
10歳代(N=21)	1 4.8	2 9.5	3 14.3	12 57.1	11 52.4	2 9.5	1 4.8	-	
20歳代(N=131)	16 12.2	26 19.8	37 28.2	82 62.6	81 61.8	9 6.9	3 2.3	1 0.8	
30歳代(N=164)	32 19.5	34 20.7	78 47.6	113 68.9	104 63.4	3 1.8	8 4.9	-	
40歳代(N=146)	27 18.5	30 20.5	53 36.3	83 56.8	66 45.2	15 10.3	4 2.7	1 0.7	
50歳代(N=153)	21 13.7	28 18.3	33 21.6	81 52.9	64 41.8	11 7.2	3 2.0	1 0.7	
60歳代(N=156)	34 21.8	41 26.3	38 24.4	84 53.8	79 50.6	13 8.3	-	2 1.3	
70歳代(N=204)	59 28.9	57 27.9	67 32.8	122 59.8	117 57.4	18 8.8	5 2.5	5 2.5	
80歳以上(N=88)	20 22.7	17 19.3	18 20.5	49 55.7	44 50.0	7 8.0	2 2.3	9 10.2	

問 10 地域別・世帯構成別

地域別にみると、すべての地域で「人との交流機会の減少」が最も高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らしでは「人との交流機会の減少」「買い物等の外出の減少」、夫婦のみ、2世代が同居（親と子）、3世代が同居（親と子と孫）、その他では「人との交流機会の減少」が最も高くなっています。

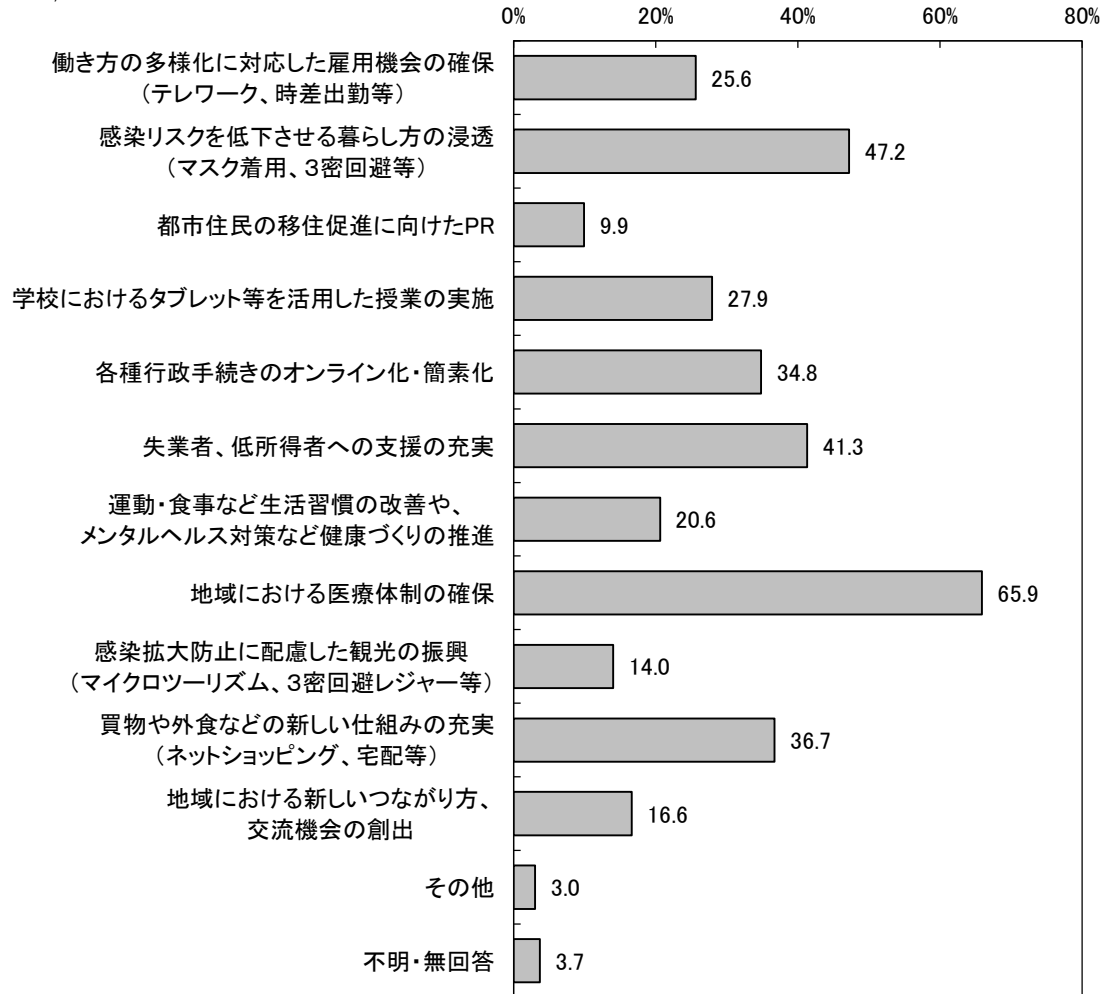
上段:度数 下段:%	収入の減少	支出の増加	失業	働き方の変化による負担	身体の健康の悪化	精神的な健康の悪化	子どもの預け先の確保	子どもの学習機会の減少・学力の低下	家族の介護負担の増加
JR阪和線より山側の地域(N=341)	79 23.2	65 19.1	16 4.7	47 13.8	53 15.5	105 30.8	7 2.1	39 11.4	21 6.2
国道26号からJR阪和線 の間の地域(N=251)	78 31.1	74 29.5	23 9.2	40 15.9	30 12.0	79 31.5	12 4.8	36 14.3	21 8.4
堺阪南線から国道26号 の間の地域(N=162)	58 35.8	42 25.9	7 4.3	21 13.0	22 13.6	39 24.1	5 3.1	30 18.5	13 8.0
堺阪南線より海側の 地域(N=298)	82 27.5	64 21.5	19 6.4	50 16.8	40 13.4	96 32.2	11 3.7	45 15.1	27 9.1
ひとり暮らし(N=90)	19 21.1	16 17.8	6 6.7	9 10.0	24 26.7	33 36.7	2 2.2	3 3.3	7 7.8
夫婦のみ(N=284)	60 21.1	46 16.2	7 2.5	29 10.2	40 14.1	83 29.2	1 0.4	12 4.2	25 8.8
2世代が同居 (親と子)(N=589)	191 32.4	160 27.2	44 7.5	105 17.8	68 11.5	178 30.2	31 5.3	118 20.0	44 7.5
3世代が同居 (親と子と孫)(N=72)	22 30.6	16 22.2	4 5.6	10 13.9	12 16.7	20 27.8	1 1.4	15 20.8	5 6.9
その他(N=24)	7 29.2	8 33.3	4 16.7	5 20.8	2 8.3	6 25.0	- -	4 16.7	2 8.3

上段:度数 下段:%	地域活動の停滞・減少	文化芸術に触れる機会の減少	運動・スポーツの機会の減少	人との交流機会の減少	買い物等の外出の減少	特になし	その他	不明・無回答
JR阪和線より山側の地域(N=341)	67 19.6	81 23.8	106 31.1	197 57.8	187 54.8	33 9.7	9 2.6	3 0.9
国道26号からJR阪和線 の間の地域(N=251)	45 17.9	64 25.5	79 31.5	148 59.0	144 57.4	13 5.2	7 2.8	3 1.2
堺阪南線から国道26号 の間の地域(N=162)	32 19.8	28 17.3	43 26.5	96 59.3	81 50.0	9 5.6	3 1.9	5 3.1
堺阪南線より海側の 地域(N=298)	63 21.1	62 20.8	96 32.2	181 60.7	150 50.3	22 7.4	6 2.0	6 2.0
ひとり暮らし(N=90)	18 20.0	21 23.3	27 30.0	50 55.6	50 55.6	6 6.7	- -	4 4.4
夫婦のみ(N=284)	62 21.8	65 22.9	74 26.1	162 57.0	149 52.5	30 10.6	6 2.1	7 2.5
2世代が同居 (親と子)(N=589)	103 17.5	129 21.9	190 32.3	350 59.4	318 54.0	40 6.8	19 3.2	5 0.8
3世代が同居 (親と子と孫)(N=72)	20 27.8	19 26.4	26 36.1	44 61.1	35 48.6	- -	- -	2 2.8
その他(N=24)	6 25.0	2 8.3	8 33.3	16 66.7	12 50.0	2 8.3	1 4.2	- -

問 11 ウィズコロナ、アフターコロナ社会の中で、泉南市ではどんなことに力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

ウィズコロナ、アフターコロナ社会の中で、泉南市ではどんなことに力を入れるべきだと思うかについてみると、「地域における医療体制の確保」が65.9%と最も高く、次いで「感染リスクを低下させる暮らし方の浸透（マスク着用、3密回避等）」が47.2%、「失業者、低所得者への支援の充実」が41.3%となっています。

N=1,069



■問 11 性別・年齢別・地域別

性別にみると、「地域における医療体制の確保」では女性が男性より 13.6 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、10 歳代では「働き方の多様化に対応した雇用機会の確保（テレワーク、時差出勤等）」、20 歳以上では「地域における医療体制の確保」が最も高くなっています。

地域別にみると、堺阪南線より海側の地域では「地域における医療体制の確保」が他の地域に比べて高くなっています。

上段:度数 下段:%	働き方の多様化に対応した雇用機会の確保 (テレワーク、時差出勤等)	感染リスクを低下させる暮らし方の浸透 (マスク着用、3密回避等)	都市住民の移住促進に向けたPR	学校におけるタブレット等を活用した授業の実施	各種行政手続きのオンライン化・簡素化	失業者、低所得者への支援の充実	運動・食事など生活習慣の改善や、メンタルヘルス対策など健康づくりの推進	地域における医療体制の確保	感染拡大防止に配慮した観光の振興(マイクローツーリズム、3密回避レジャー等)	買物や外食などの新しい仕組みの充実 (ネットショッピング、宅配等)	地域における新しいつながり方、交流機会の創出	その他	不明・無回答
男性(N=446)	106 23.8	196 43.9	52 11.7	115 25.8	166 37.2	175 39.2	79 17.7	259 58.1	61 13.7	137 30.7	74 16.6	20 4.5	21 4.7
女性(N=615)	167 27.2	303 49.3	52 8.5	182 29.6	203 33.0	261 42.4	139 22.6	441 71.7	87 14.1	254 41.3	101 16.4	12 2.0	18 2.9
その他(N=2)	- -	2 100.0	1 50.0	- -	1 50.0	2 100.0	- -	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
10歳代(N=21)	11 52.4	10 47.6	3 14.3	5 23.8	7 33.3	10 47.6	5 23.8	9 42.9	3 14.3	9 42.9	3 14.3	- -	- -
20歳代(N=131)	48 36.6	59 45.0	11 8.4	39 29.8	55 42.0	70 53.4	36 27.5	72 55.0	26 19.8	63 48.1	21 16.0	5 3.8	3 2.3
30歳代(N=164)	51 31.1	68 41.5	9 5.5	64 39.0	87 53.0	69 42.1	34 20.7	108 65.9	24 14.6	61 37.2	21 12.8	6 3.7	4 2.4
40歳代(N=146)	43 29.5	65 44.5	17 11.6	51 34.9	70 47.9	65 44.5	26 17.8	104 71.2	27 18.5	58 39.7	23 15.8	5 3.4	1 0.7
50歳代(N=153)	34 22.2	64 41.8	17 11.1	43 28.1	47 30.7	69 45.1	27 17.6	112 73.2	12 7.8	51 33.3	20 13.1	7 4.6	1 0.7
60歳代(N=156)	27 17.3	64 41.0	22 14.1	35 22.4	45 28.8	57 36.5	25 16.0	112 71.8	16 10.3	48 30.8	26 16.7	4 2.6	4 2.6
70歳代(N=204)	43 21.1	117 57.4	21 10.3	46 22.5	50 24.5	71 34.8	42 20.6	129 63.2	26 12.7	68 33.3	44 21.6	4 2.0	14 6.9
80歳以上(N=88)	15 17.0	53 60.2	5 5.7	13 14.8	9 10.2	27 30.7	22 25.0	54 61.4	13 14.8	32 36.4	17 19.3	1 1.1	13 14.8
JR阪和線より山側の地域(N=341)	85 24.9	163 47.8	35 10.3	94 27.6	116 34.0	124 36.4	80 23.5	215 63.0	47 13.8	134 39.3	59 17.3	15 4.4	13 3.8
国道26号からJR阪和線 の間の地域(N=251)	72 28.7	120 47.8	28 11.2	68 27.1	91 36.3	109 43.4	52 20.7	157 62.5	29 11.6	98 39.0	35 13.9	6 2.4	6 2.4
堺阪南線から国道26号 の間の地域(N=162)	38 23.5	73 45.1	16 9.9	48 29.6	61 37.7	64 39.5	31 19.1	107 66.0	23 14.2	56 34.6	27 16.7	4 2.5	9 5.6
堺阪南線より海側の 地域(N=298)	76 25.5	138 46.3	26 8.7	85 28.5	100 33.6	137 46.0	54 18.1	216 72.5	48 16.1	98 32.9	53 17.8	7 2.3	10 3.4

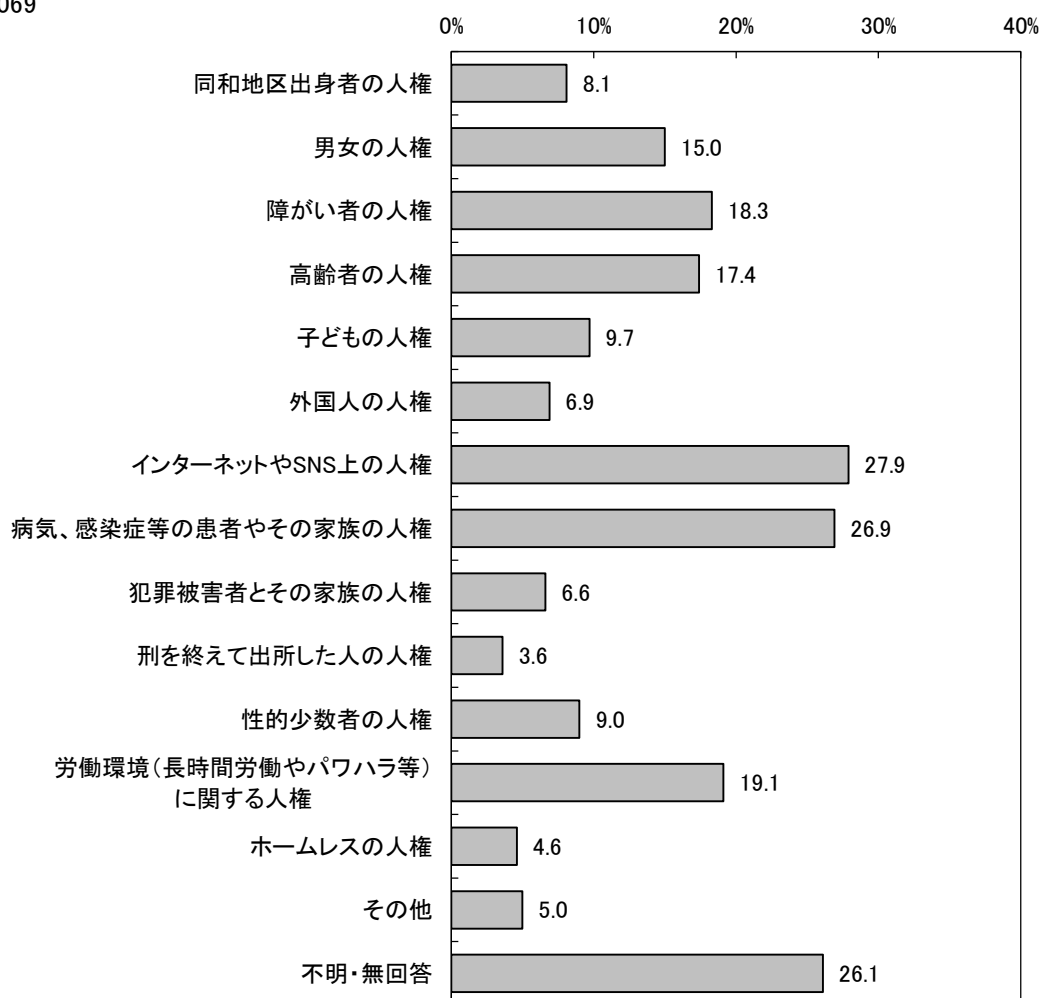
【人権について】

問 12 次の人権問題について、あなたの日常生活や身のまわりで守られていないと思うものはなんですか。(あてはまるものすべてに○)

人権問題について、あなたの日常生活や身のまわりで守られていないと思うものについてみると、「インターネットや SNS 上の人権」が 27.9%と最も高く、次いで「病気、感染症等の患者やその家族の人権」が 26.9%、「労働環境（長時間労働やパワハラ等）に関する人権」が 19.1%となっています。

前回調査との比較では、「犯罪被害者とその家族の人権」と回答した人は前回調査より 16.2 ポイント減少しています。

N=1,069



■問 12 性別・年齢別

性別による大きな差はみられません。

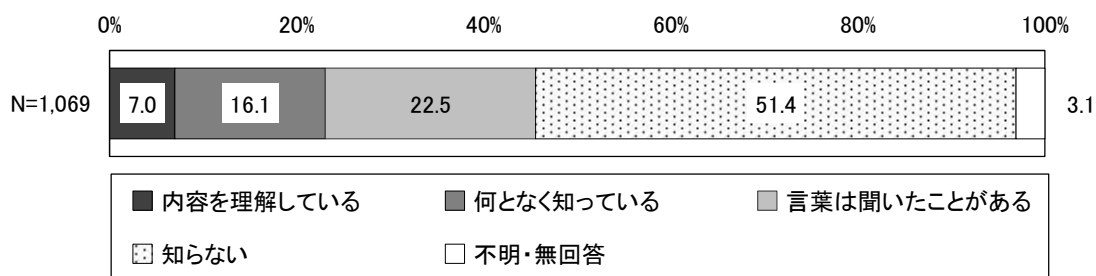
年齢別にみると、10歳代、30～60歳代では「インターネットやSNS上の人権」、20歳代では「病気、感染症等の患者やその家族の人権」、70歳以上では「高齢者の人権」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	同和地区出身者の人権	男女の人権	障がい者の人権	高齢者の人権	子どもの人権	外国人の人権	インターネットやSNS上の人権	病気、感染症等の患者やその家族の人権	犯罪被害者とその家族の人権	刑を終えて出所した人の人権	性的少数者の人権	労働環境（長時間労働やパワハラ等）に関する人権	ホームレスの人権	その他	不明・無回答
男性(N=446)	33 7.4	53 11.9	83 18.6	76 17.0	40 9.0	31 7.0	122 27.4	118 26.5	34 7.6	16 3.6	41 9.2	90 20.2	24 5.4	25 5.6	109 24.4
女性(N=615)	49 8.0	104 16.9	109 17.7	105 17.1	62 10.1	41 6.7	174 28.3	166 27.0	33 5.4	19 3.1	54 8.8	110 17.9	23 3.7	28 4.6	170 27.6
その他(N=2)	1 50.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	-	-
10歳代(N=21)	1 4.8	3 14.3	3 14.3	1 4.8	1 4.8	2 9.5	9 42.9	3 14.3	1 4.8	-	5 23.8	4 19.0	1 4.8	-	6 28.6
20歳代(N=131)	13 9.9	30 22.9	31 23.7	17 13.0	24 18.3	19 14.5	39 29.8	48 36.6	9 6.9	10 7.6	29 22.1	35 26.7	14 10.7	5 3.8	16 12.2
30歳代(N=164)	15 9.1	25 15.2	27 16.5	16 9.8	22 13.4	10 6.1	59 36.0	41 25.0	17 10.4	6 3.7	19 11.6	33 20.1	8 4.9	12 7.3	34 20.7
40歳代(N=146)	14 9.6	23 15.8	22 15.1	14 9.6	11 7.5	12 8.2	46 31.5	38 26.0	5 3.4	3 2.1	10 6.8	39 26.7	5 3.4	5 3.4	35 24.0
50歳代(N=153)	16 10.5	32 20.9	32 20.9	18 11.8	16 10.5	11 7.2	52 34.0	44 28.8	12 7.8	4 2.6	11 7.2	30 19.6	7 4.6	12 7.8	31 20.3
60歳代(N=156)	8 5.1	20 12.8	21 13.5	32 20.5	10 6.4	10 6.4	47 30.1	44 28.2	10 6.4	5 3.2	7 4.5	32 20.5	6 3.8	5 3.2	41 26.3
70歳代(N=204)	12 5.9	16 7.8	39 19.1	59 28.9	12 5.9	5 2.5	33 16.2	51 25.0	11 5.4	5 2.5	9 4.4	24 11.8	3 1.5	8 3.9	76 37.3
80歳以上(N=88)	5 5.7	10 11.4	19 21.6	27 30.7	7 8.0	4 4.5	12 13.6	17 19.3	4 4.5	4 4.5	6 6.8	4 4.5	4 4.5	6 6.8	39 44.3

【SDGsの推進について】

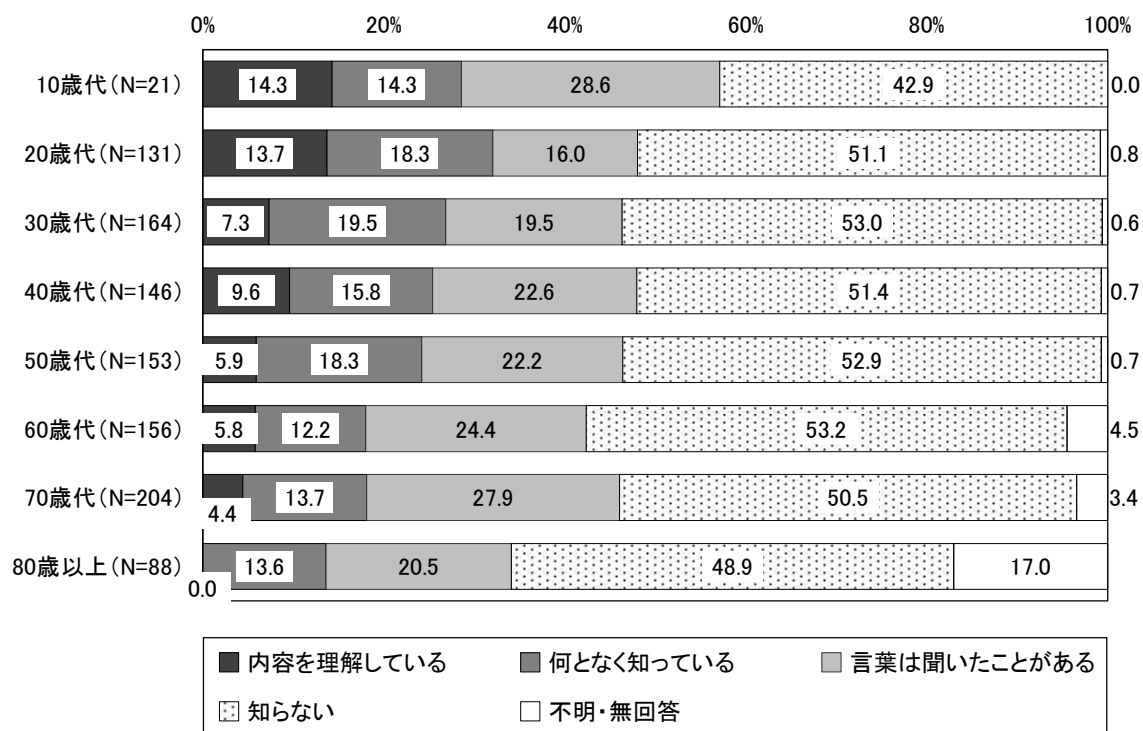
問 13 あなたは 2030 年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標である SDGs についてどの程度知っていますか。(〇は1つ)

2030 年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標である SDGs についてどの程度知っているかについてみると、「知らない」が 51.4%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」が 22.5%、「何となく知っている」が 16.1%となっています。



■問 13 年齢別

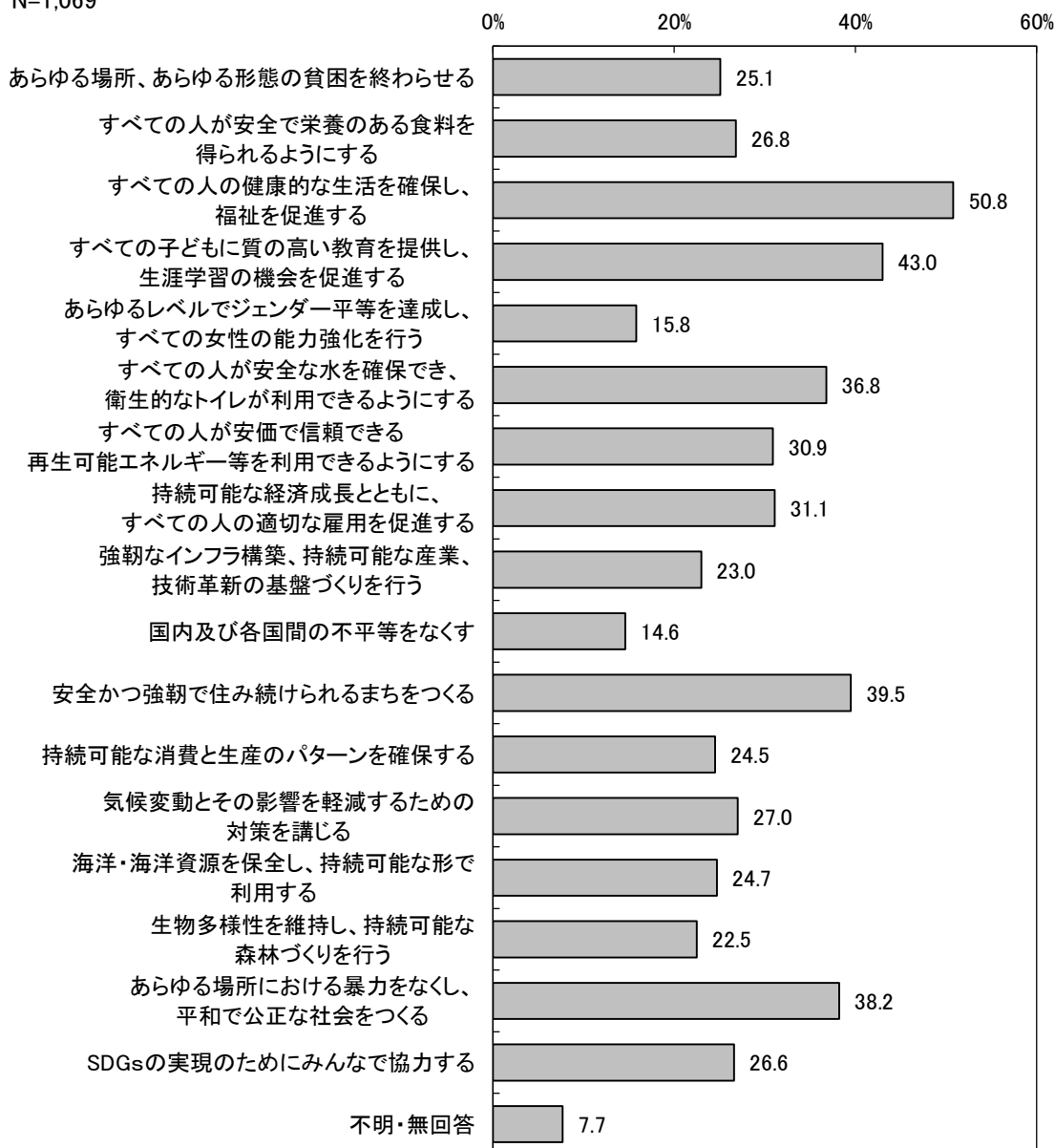
年齢別にみると、概ね年代が上がるにつれて「内容を理解している」が減少しています。



問 14 SDGsの 17 の目標のうち、泉南市ではどの分野に力を入れるべきだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

SDGsの 17 の目標のうち、泉南市ではどの分野に力を入れるべきだと思うかについてみると、「すべての人の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」が 50.8%と最も高く、次いで「すべての子どもに質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」が 43.0%、「安全かつ強靱で住み続けられるまちをつくる」が 39.5%となっています。

N=1,069



■問 14 年齢別

年齢別にみると、10～20歳代、40歳以上では「すべての人の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」、30歳代では「すべての子どもに質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」が最も高くなっています。

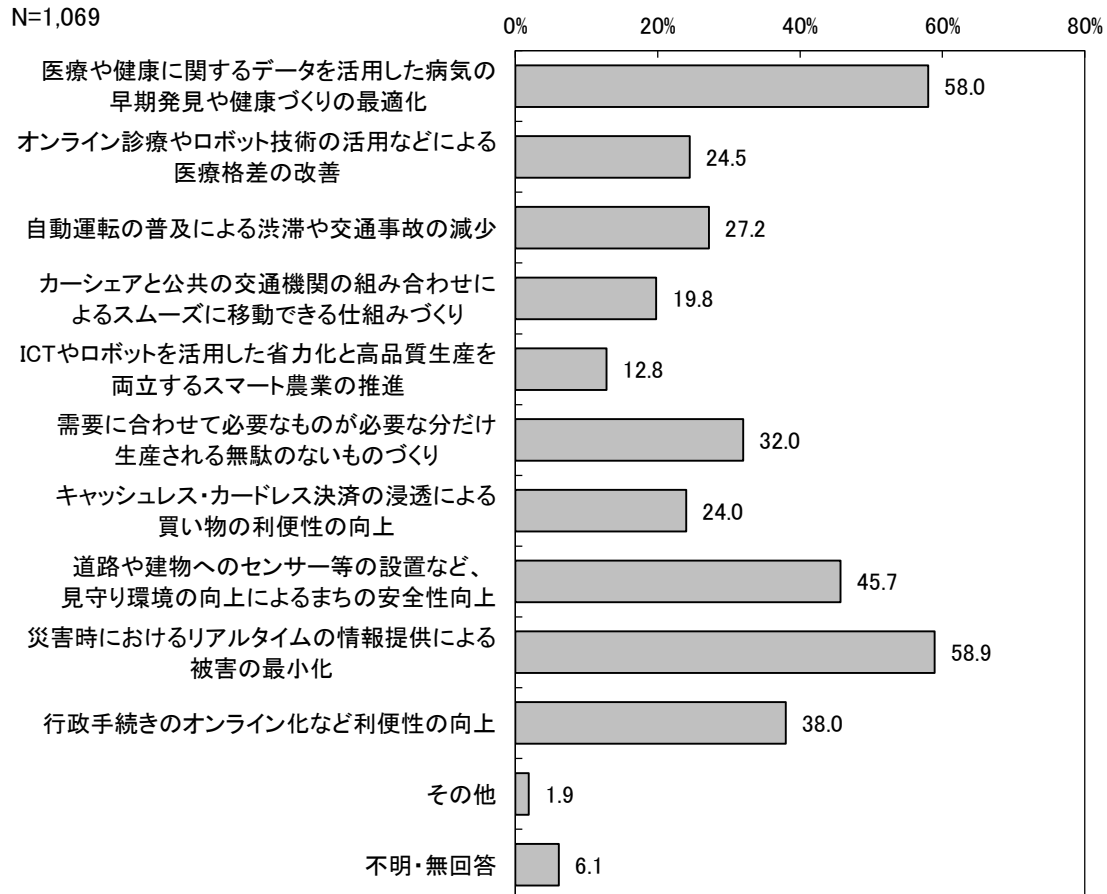
上段:度数 下段:%	あらゆる場所、あらゆる形態の貧困を終わらせる	すべての人が安全で栄養のある食料を得られるようにする	すべての人の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	すべての子どもに質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	あらゆるレベルでジェンダー平等を達成し、すべての女性の能力強化を行う	すべての人が安全な水を利用でき、衛生的なトイレが利用できるようにする	すべての人が安価で信頼できる再生可能エネルギー等を利用できるようにする	持続可能な経済成長とともに、すべての人の適切な雇用を促進する	強靱なインフラ構築、持続可能な産業、技術革新の基盤づくりを行う
10歳代 (N=21)	7 33.3	4 19.0	12 57.1	7 33.3	6 28.6	9 42.9	5 23.8	6 28.6	4 19.0
20歳代 (N=131)	47 35.9	45 34.4	70 53.4	62 47.3	38 29.0	43 32.8	36 27.5	49 37.4	33 25.2
30歳代 (N=164)	43 26.2	49 29.9	74 45.1	90 54.9	27 16.5	64 39.0	43 26.2	45 27.4	36 22.0
40歳代 (N=146)	40 27.4	35 24.0	72 49.3	71 48.6	26 17.8	54 37.0	50 34.2	59 40.4	35 24.0
50歳代 (N=153)	41 26.8	42 27.5	72 47.1	55 35.9	21 13.7	58 37.9	41 26.8	39 25.5	31 20.3
60歳代 (N=156)	37 23.7	39 25.0	84 53.8	61 39.1	16 10.3	59 37.8	53 34.0	52 33.3	38 24.4
70歳代 (N=204)	36 17.6	40 19.6	108 52.9	85 41.7	18 8.8	72 35.3	75 36.8	55 27.0	48 23.5
80歳以上 (N=88)	16 18.2	31 35.2	47 53.4	27 30.7	16 18.2	32 36.4	26 29.5	25 28.4	19 21.6
上段:度数 下段:%	国内及び各国間の不平等をなくす	安全かつ強靱で住み続けられるまちをつくる	持続可能な消費と生産のパターンを確保する	気候変動とその影響を軽減するための対策を講じる	海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する	生物多様性を維持し、持続可能な森林づくりを行う	あらゆる場所における暴力をなくし、平和で公正な社会をつくる	SDGsの実現のためにみんなで協力する	不明・無回答
10歳代 (N=21)	3 14.3	7 33.3	6 28.6	10 47.6	6 28.6	3 14.3	9 42.9	5 23.8	-
20歳代 (N=131)	24 18.3	58 44.3	36 27.5	32 24.4	44 33.6	38 29.0	58 44.3	42 32.1	3 2.3
30歳代 (N=164)	28 17.1	57 34.8	45 27.4	38 23.2	43 26.2	37 22.6	60 36.6	42 25.6	6 3.7
40歳代 (N=146)	22 15.1	50 34.2	49 33.6	43 29.5	37 25.3	34 23.3	53 36.3	37 25.3	7 4.8
50歳代 (N=153)	21 13.7	61 39.9	33 21.6	44 28.8	43 28.1	32 20.9	53 34.6	38 24.8	5 3.3
60歳代 (N=156)	17 10.9	58 37.2	32 20.5	45 28.8	28 17.9	30 19.2	59 37.8	41 26.3	11 7.1
70歳代 (N=204)	28 13.7	89 43.6	43 21.1	50 24.5	44 21.6	46 22.5	78 38.2	55 27.0	32 15.7
80歳以上 (N=88)	12 13.6	40 45.5	16 18.2	26 29.5	19 21.6	18 20.5	37 42.0	23 26.1	18 20.5

【デジタル化(スマートシティ)の推進について】

問 15 今後デジタル化が進むことによってどんな変化を期待しますか。

(あてはまるものすべてに○)

デジタル化が進むことによってどんな変化を期待するかについてみると、「災害時におけるリアルタイムの情報提供による被害の最小化」が58.9%と最も高く、次いで「医療や健康に関するデータを活用した病気の早期発見や健康づくりの最適化」が58.0%、「道路や建物へのセンサー等の設置など、見守り環境の向上によるまちの安全性向上」が45.7%となっています。



■問 15 年齢別

年齢別にみると、10歳代、70歳以上では「医療や健康に関するデータを活用した病気の早期発見や健康づくりの最適化」、20歳代、60歳代では「医療や健康に関するデータを活用した病気の早期発見や健康づくりの最適化」「災害時におけるリアルタイムの情報提供による被害の最小化」、30～50歳代では「災害時におけるリアルタイムの情報提供による被害の最小化」が最も高くなっています。

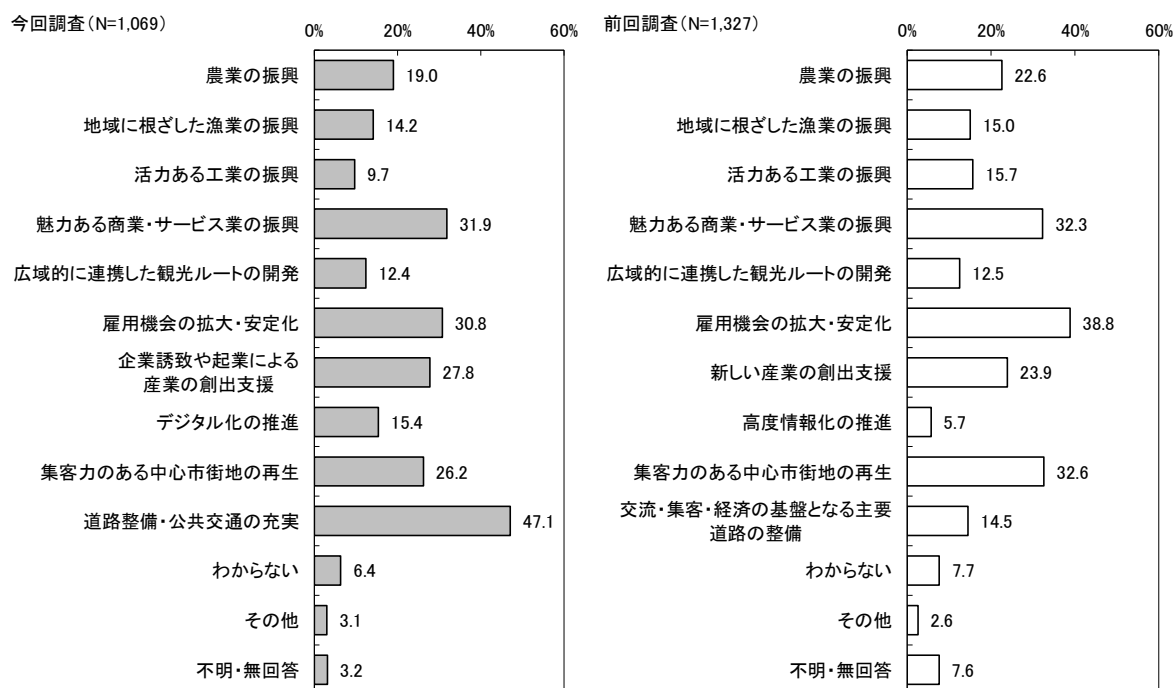
上段:度数 下段:%	医療や健康に関するデータを活用した病気の早期発見や健康づくりの最適化	オンライン診療やロボット技術の活用などによる医療格差の改善	自動運転の普及による渋滞や交通事故の減少	カーシェアと公共の交通機関の組み合わせによるスムーズに移動できる仕組みづくり	IoTやロボットを活用した省力化と高品質生産を両立するスマート農業の推進	無駄のないものづくり 需要に合わせて必要なものが 必要な分だけ生産される	キャッシュレス・カードレス決済の浸透による買い物利便性の向上	道路や建物へのセンサー等の設置など、見守り環境の向上による まちの安全性向上	災害時におけるリアルタイムの情報提供による被害の最小化	行政手続きのオンライン化など 利便性の向上	その他	不明・無回答
10歳代(N=21)	16 76.2	7 33.3	9 42.9	4 19.0	2 9.5	7 33.3	9 42.9	8 38.1	12 57.1	6 28.6	-	-
20歳代(N=131)	82 62.6	35 26.7	47 35.9	27 20.6	29 22.1	52 39.7	48 36.6	58 44.3	82 62.6	59 45.0	3 2.3	1 0.8
30歳代(N=164)	89 54.3	34 20.7	53 32.3	29 17.7	17 10.4	53 32.3	53 32.3	77 47.0	100 61.0	87 53.0	2 1.2	2 1.2
40歳代(N=146)	71 48.6	46 31.5	43 29.5	34 23.3	17 11.6	54 37.0	42 28.8	72 49.3	93 63.7	68 46.6	2 1.4	4 2.7
50歳代(N=153)	87 56.9	46 30.1	39 25.5	34 22.2	20 13.1	42 27.5	35 22.9	68 44.4	91 59.5	65 42.5	3 2.0	4 2.6
60歳代(N=156)	91 58.3	38 24.4	35 22.4	18 11.5	17 10.9	45 28.8	23 14.7	72 46.2	91 58.3	41 26.3	2 1.3	10 6.4
70歳代(N=204)	128 62.7	39 19.1	42 20.6	50 24.5	26 12.7	63 30.9	31 15.2	98 48.0	116 56.9	55 27.0	5 2.5	21 10.3
80歳以上(N=88)	51 58.0	16 18.2	23 26.1	15 17.0	7 8.0	24 27.3	15 17.0	33 37.5	42 47.7	23 26.1	3 3.4	22 25.0

【地域活性化について】

問 16 泉南市のまちづくりの活性化を進めるには、今後どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。(〇は3つまで)

泉南市のまちづくりの活性化を進めるために、重点を置くべきことについてみると、「道路整備・公共交通の充実」が47.1%と最も高く、次いで「魅力ある商業・サービス業の振興」が31.9%、「雇用機会の拡大・安定化」が30.8%となっています。

前回調査との比較では、「雇用機会の拡大・安定化」と回答した人は8.0ポイント減少しています。



■問 16 年齢別・地域別

年齢別にみると、すべての年代で「道路整備・公共交通の充実」が最も高くなっています。
地域別にみると、すべての地域で「道路整備・公共交通の充実」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	農業の振興	地域に根ざした漁業の振興	活力ある工業の振興	魅力ある商業・サービス業の振興	広域的に連携した観光ルートの開発	雇用機会の拡大・安定化	企業誘致や起業による産業の創出支援	デジタル化の推進	集客力のある中心市街地の再生	道路整備・公共交通の充実	わからない	その他	不明・無回答
10歳代(N=21)	8 38.1	2 9.5	2 9.5	3 14.3	1 4.8	8 38.1	2 9.5	6 28.6	7 33.3	11 52.4	-	-	-
20歳代(N=131)	25 19.1	21 16.0	15 11.5	46 35.1	18 13.7	42 32.1	29 22.1	32 24.4	33 25.2	54 41.2	13 9.9	5 3.8	3 2.3
30歳代(N=164)	27 16.5	28 17.1	9 5.5	62 37.8	19 11.6	59 36.0	37 22.6	30 18.3	45 27.4	79 48.2	5 3.0	5 3.0	2 1.2
40歳代(N=146)	28 19.2	24 16.4	13 8.9	52 35.6	20 13.7	45 30.8	40 27.4	35 24.0	43 29.5	65 44.5	5 3.4	6 4.1	1 0.7
50歳代(N=153)	27 17.6	21 13.7	11 7.2	53 34.6	14 9.2	58 37.9	38 24.8	22 14.4	31 20.3	70 45.8	12 7.8	5 3.3	2 1.3
60歳代(N=156)	32 20.5	18 11.5	17 10.9	47 30.1	17 10.9	50 32.1	49 31.4	16 10.3	42 26.9	77 49.4	6 3.8	7 4.5	9 5.8
70歳代(N=204)	45 22.1	28 13.7	25 12.3	49 24.0	31 15.2	42 20.6	74 36.3	19 9.3	52 25.5	105 51.5	18 8.8	3 1.5	7 3.4
80歳以上(N=88)	9 10.2	10 11.4	10 11.4	27 30.7	12 13.6	20 22.7	25 28.4	5 5.7	24 27.3	42 47.7	9 10.2	1 1.1	10 11.4
JR阪和線より山側の地域(N=341)	71 20.8	46 13.5	33 9.7	103 30.2	45 13.2	84 24.6	100 29.3	59 17.3	96 28.2	177 51.9	20 5.9	12 3.5	13 3.8
国道26号からJR阪和線の間の地域(N=251)	46 18.3	28 11.2	22 8.8	77 30.7	33 13.1	87 34.7	67 26.7	35 13.9	70 27.9	132 52.6	10 4.0	6 2.4	5 2.0
堺阪南線から国道26号の間の地域(N=162)	29 17.9	19 11.7	19 11.7	56 34.6	18 11.1	52 32.1	42 25.9	30 18.5	35 21.6	66 40.7	14 8.6	4 2.5	5 3.1
堺阪南線より海側の地域(N=298)	53 17.8	56 18.8	27 9.1	102 34.2	36 12.1	97 32.6	82 27.5	39 13.1	75 25.2	124 41.6	20 6.7	10 3.4	11 3.7

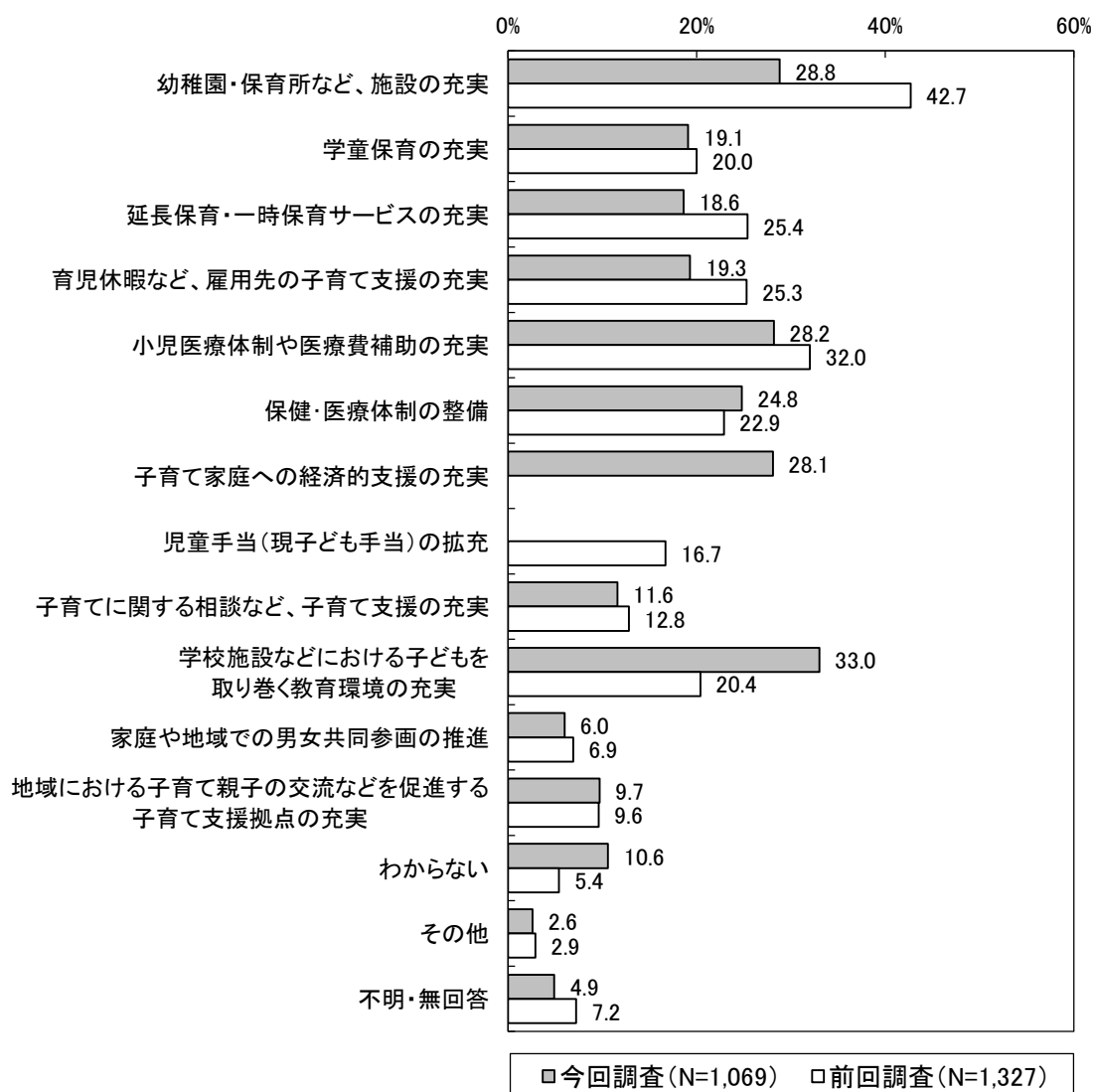
【子育て・教育について】

問 17 子育て支援について、今後どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。

(○は3つまで)

子育て支援について、重点を置くべきことについてみると、「学校施設などにおける子どもを取り巻く教育環境の充実」が33.0%と最も高く、次いで「幼稚園・保育所など、施設の充実」が28.8%、「小児医療体制や医療費補助の充実」が28.2%となっています。

前回調査との比較では、「幼稚園・保育所など、施設の充実」と回答した人は前回調査より13.9ポイント減少しています。一方、「学校施設などにおける子どもを取り巻く教育環境の充実」と回答した人は12.6ポイント増加しています。



※「子育て家庭への経済的支援の充実」は今回調査のみの選択肢

「児童手当(現子ども手当)の拡充」は前回調査のみの選択肢

■問 17 年齢別・世帯構成別

年齢別にみると、10歳代では「育児休暇など、雇用先の子育て支援の充実」「学校施設などにおける子どもを取り巻く教育環境の充実」、20～30歳代では「子育て家庭への経済的支援の充実」、40歳代では「小児医療体制や医療費補助の充実」、50～70歳代では「学校施設などにおける子どもを取り巻く教育環境の充実」、80歳以上では「幼稚園・保育所など、施設の充実」が最も高くなっています。

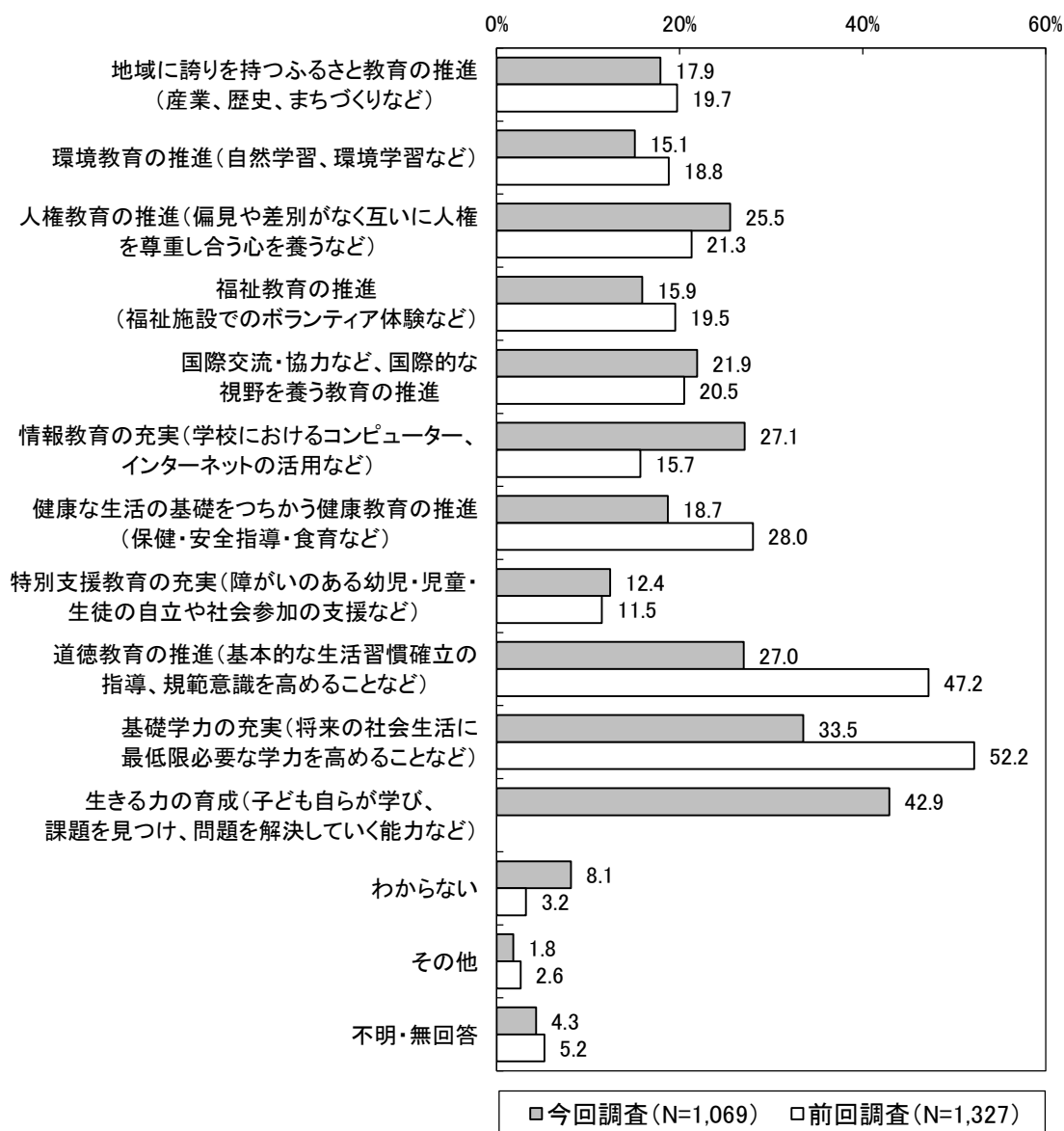
世帯構成別にみると、ひとり暮らし、夫婦のみ、2世代が同居（親と子）では「学校施設などにおける子どもを取り巻く教育環境の充実」、3世代が同居（親と子と孫）では「子育て家庭への経済的支援の充実」、その他では「保健・医療体制の整備」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	幼稚園・保育所など、施設の充実	学童保育の充実	延長保育・一時保育サービスの充実	育児休暇など、雇用先の子育て支援の充実	小児医療体制や医療費補助の充実	保健・医療体制の整備	子育て家庭への経済的支援の充実	子育てに関する相談など、子育て支援の充実	学校施設などにおける子どもを取り巻く教育環境の充実	家庭や地域での男女共同参画の推進	地域における子育て親子の交流などを促進する子育て支援拠点の充実	わからない	その他	不明・無回答
10歳代(N=21)	8 38.1	5 23.8	2 9.5	10 47.6	4 19.0	5 23.8	5 23.8	3 14.3	10 47.6	2 9.5	2 9.5	1 4.8	-	-
20歳代(N=131)	54 41.2	28 21.4	25 19.1	44 33.6	36 27.5	30 22.9	58 44.3	21 16.0	35 26.7	14 10.7	8 6.1	11 8.4	3 2.3	-
30歳代(N=164)	50 30.5	31 18.9	30 18.3	33 20.1	60 36.6	40 24.4	77 47.0	14 8.5	68 41.5	6 3.7	12 7.3	12 7.3	7 4.3	2 1.2
40歳代(N=146)	40 27.4	19 13.0	23 15.8	28 19.2	57 39.0	38 26.0	52 35.6	15 10.3	55 37.7	8 5.5	10 6.8	17 11.6	9 6.2	4 2.7
50歳代(N=153)	37 24.2	32 20.9	35 22.9	31 20.3	46 30.1	37 24.2	38 24.8	12 7.8	48 31.4	8 5.2	12 7.8	16 10.5	1 0.7	2 1.3
60歳代(N=156)	46 29.5	31 19.9	44 28.2	25 16.0	44 28.2	43 27.6	24 15.4	23 14.7	53 34.0	5 3.2	14 9.0	13 8.3	1 0.6	9 5.8
70歳代(N=204)	48 23.5	41 20.1	31 15.2	28 13.7	41 20.1	55 27.0	26 12.7	28 13.7	62 30.4	13 6.4	33 16.2	28 13.7	6 2.9	21 10.3
80歳以上(N=88)	23 26.1	15 17.0	7 8.0	6 6.8	12 13.6	16 18.2	19 21.6	7 8.0	21 23.9	7 8.0	12 13.6	14 15.9	-	13 14.8
ひとり暮らし(N=90)	16 17.8	18 20.0	16 17.8	9 10.0	13 14.4	16 17.8	15 16.7	11 12.2	21 23.3	3 3.3	13 14.4	16 17.8	1 1.1	14 15.6
夫婦のみ(N=284)	82 28.9	52 18.3	61 21.5	48 16.9	69 24.3	62 21.8	56 19.7	35 12.3	87 30.6	17 6.0	29 10.2	32 11.3	7 2.5	26 9.2
2世代が同居 (親と子)(N=589)	180 30.6	116 19.7	103 17.5	128 21.7	196 33.3	155 26.3	191 32.4	65 11.0	209 35.5	35 5.9	50 8.5	54 9.2	19 3.2	10 1.7
3世代が同居 (親と子と孫)(N=72)	18 25.0	10 13.9	13 18.1	16 22.2	18 25.0	20 27.8	30 41.7	8 11.1	28 38.9	5 6.9	7 9.7	7 9.7	-	1 1.4
その他(N=24)	9 37.5	4 16.7	3 12.5	2 8.3	3 12.5	11 45.8	6 25.0	4 16.7	7 29.2	3 12.5	2 8.3	2 8.3	-	-

問 18 教育について、今後どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。(〇は3つまで)

教育について、重点を置くべきことについてみると、「生きる力の育成（子ども自らが学び、課題を見つけ、問題を解決していく能力など）」が42.9%と最も高く、次いで「基礎学力の充実（将来の社会生活に最低限必要な学力を高めることなど）」が33.5%、「情報教育の充実（学校におけるコンピューター、インターネットの活用など）」が27.1%となっています。

前回調査との比較では、「道徳教育の推進（基本的な生活習慣確立の指導、規範意識を高めることなど）」と回答した人は前回調査より20.2ポイント、「基礎学力の充実（将来の社会生活に最低限必要な学力を高めることなど）」と回答した人は18.7ポイントそれぞれ減少しています。



※「生きる力の育成（子ども自らが学び、課題を見つけ、問題を解決していく能力など）」は今回調査のみの選択肢

■問 18 年齢別・世帯構成別

年齢別にみると、10～20歳代では「人権教育の推進（偏見や差別がなく互いに人権を尊重し合う心を養うなど）」、30～60歳代では「生きる力の育成（子ども自らが学び、課題を見つけ、問題を解決していく能力など）」、70歳代では「道徳教育の推進（基本的な生活習慣確立の指導、規範意識を高めることなど）」、80歳以上では「地域に誇りを持つふるさと教育の推進（産業、歴史、まちづくりなど）」が最も高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし、夫婦のみ、2世代が同居（親と子）、3世代が同居（親と子と孫）では「生きる力の育成（子ども自らが学び、課題を見つけ、問題を解決していく能力など）」、その他では「人権教育の推進（偏見や差別がなく互いに人権を尊重し合う心を養うなど）」「道徳教育の推進（基本的な生活習慣確立の指導、規範意識を高めることなど）」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	地域に誇りを持つふるさと教育の推進 (産業、歴史、まちづくりなど)	環境教育の推進(自然学習、 環境学習など)	人権教育の推進(偏見や差別がなく互いに 人権を尊重し合う心を養うなど)	福祉施設でのボランティア体験など) (福祉教育の推進)	国際交流・協力など、 国際的な視野を養う教育の推進	情報教育の充実(学校におけるコン ピューター、インターネットの活用など)	健康な生活の基礎をつちかう健康教育の 推進(保健・安全指導・食育など)	特別支援教育の充実(障がいのある幼児・ 児童・生徒の自立や社会参加の支援など)	道徳教育の推進(基本的な生活習慣確立の 指導、規範意識を高めることなど)	基礎学力の充実(将来の社会生活に 最低限必要な学力を高めることなど)	生きる力の育成(子ども自らが学び、課題 を見つけ、問題を解決していく能力など)	わからない	その他	不明・無回答
10歳代(N=21)	2 9.5	1 4.8	13 61.9	5 23.8	2 9.5	6 28.6	5 23.8	2 9.5	5 23.8	6 28.6	11 52.4	- -	- -	1 4.8
20歳代(N=131)	18 13.7	35 26.7	65 49.6	23 17.6	25 19.1	35 26.7	28 21.4	27 20.6	32 24.4	43 32.8	63 48.1	9 6.9	2 1.5	1 0.8
30歳代(N=164)	15 9.1	38 23.2	39 23.8	27 16.5	33 20.1	42 25.6	36 22.0	24 14.6	34 20.7	61 37.2	91 55.5	9 5.5	1 0.6	3 1.8
40歳代(N=146)	27 18.5	24 16.4	35 24.0	18 12.3	47 32.2	54 37.0	23 15.8	9 6.2	29 19.9	60 41.1	70 47.9	12 8.2	6 4.1	2 1.4
50歳代(N=153)	19 12.4	21 13.7	35 22.9	30 19.6	39 25.5	51 33.3	20 13.1	19 12.4	33 21.6	57 37.3	67 43.8	11 7.2	2 1.3	1 0.7
60歳代(N=156)	29 18.6	13 8.3	31 19.9	23 14.7	31 19.9	44 28.2	35 22.4	17 10.9	61 39.1	52 33.3	65 41.7	10 6.4	3 1.9	9 5.8
70歳代(N=204)	51 25.0	19 9.3	36 17.6	33 16.2	44 21.6	48 23.5	34 16.7	27 13.2	65 31.9	55 27.0	64 31.4	25 12.3	3 1.5	16 7.8
80歳以上(N=88)	28 31.8	7 8.0	17 19.3	11 12.5	11 12.5	9 10.2	19 21.6	8 9.1	26 29.5	21 23.9	27 30.7	10 11.4	1 1.1	13 14.8
ひとり暮らし(N=90)	16 17.8	9 10.0	23 25.6	12 13.3	20 22.2	11 12.2	12 13.3	9 10.0	20 22.2	23 25.6	30 33.3	14 15.6	2 2.2	11 12.2
夫婦のみ(N=284)	58 20.4	28 9.9	54 19.0	45 15.8	58 20.4	67 23.6	52 18.3	32 11.3	99 34.9	86 30.3	113 39.8	24 8.5	6 2.1	22 7.7
2世代が同居 (親と子)(N=589)	99 16.8	109 18.5	163 27.7	94 16.0	136 23.1	181 30.7	117 19.9	80 13.6	141 23.9	219 37.2	270 45.8	40 6.8	10 1.7	11 1.9
3世代が同居 (親と子と孫)(N=72)	13 18.1	8 11.1	20 27.8	11 15.3	14 19.4	24 33.3	14 19.4	12 16.7	15 20.8	22 30.6	36 50.0	5 6.9	-	2 2.8
その他(N=24)	3 12.5	4 16.7	9 37.5	6 25.0	4 16.7	6 25.0	4 16.7	-	9 37.5	6 25.0	7 29.2	2 8.3	-	-

6 市のまちづくりの方向性について

問 19 あなたが理想とする泉南市の将来をイメージする言葉がありましたら、ご記入ください。

理想とする泉南市の将来をイメージする言葉については、287件（回収数の26.8%）の回答がありました。このうち16件は、現在の都市像でよいとする意見や将来イメージ以外の記述でした。この16件を除いた271件の将来イメージに関する記述を概観して、比較的頻出するキーワードを選び、これらのキーワードの出現回数を整理した結果が以下の通りです。なお、ひとりの回答者が複数の分野にまたがるキーワードを述べている場合は、それぞれに分類しました。

「自然」に関する内容が26件と最も多く、次いで「海」に関する内容が24件、「安心」が23件となっています。

順位	キーワード	件数	順位	キーワード	件数
1	自然	26	28	便利	5
2	海	24	28	健康	5
3	安心	23	28	税	5
4	住みよい、住みやすい、居心地がよい など	22	28	健康、健やか、すこやか など	5
5	山	21	33	教育	4
6	安全	20	33	スマートシティ	4
7	活力、活気、活性	15	33	未来、ミライ	4
7	子育て、子育てしやすい、子育て支援	15	33	災害に強い	4
9	やさしい、やさしく など	14	33	緑、みどり	4
10	住みたい、住んでよかった	11	38	青、ブルー	3
10	明るい、明るく	11	38	空港、関空	3
12	平等、差別のない、貧困のない	10	38	愛	3
12	産業、企業、経済、商業、工業	10	38	元気	3
14	きれい、綺麗	9	38	希望	3
14	共生、共存、共助、共創	9	38	商業施設	3
16	田舎、地方	8	38	助け合い	3
16	笑い、笑顔 など	8	38	誇り	3
18	世界、国際、グローバル	7	46	福祉	2
18	平和	7	46	文化	2
18	あたたか	7	46	にぎわい	2
18	発展、成長、改善	7	46	交流	2
22	観光	6	46	夢	2
22	自然環境	6	46	親切	2
22	老若男女、子どもから老人まで	6	46	ゴミのない(少ない)	2
22	働く、働きやすい	6	46	長寿	2
22	楽しい、楽しく など	6	46	温故知新	2
22	世界、国際	6	46	騒音のない	2
28	医療	5	46	地産地消	2

※2件以上回答のあったキーワードのみを記載しています。

問 20 泉南市のまちづくりについて、ご意見ご提案がありましたらご自由にお書きください。

自由記述について、回答の要旨に基づき分類・整理した結果は以下の通りです。なお、ひとりの回答者が複数の分野にまたがる意見を述べている場合は、それぞれに分類しました。

「行財政」に関する内容が 110 件と最も多く、次いで「まちの全体像」に関する内容が 90 件となっています。

分野	小分類	件数	
まちの全体像	活気のあるまち	20	90
	安全で安心なまち	19	
	便利なまち	19	
	自然と緑のまち	16	
	人を呼ぶまち	7	
	人口と開発	7	
	その他	2	
道路		57	
交通	バス	12	24
	鉄道	6	
	その他	6	
生活環境	公園	26	57
	上下水道の整備、水質保全	20	
	ごみ処理	11	
	生活マナー	7	
自然・緑・地球環境		2	
安心・安全	道路交通	22	43
	防災	13	
	防犯	8	
子育て		32	
医療・福祉	医療	26	35
	高齢者福祉	2	
	その他福祉	7	
教育、健全育成	学校教育	21	23
	青少年の健全育成、子どものしつけ	2	
文化、交流	交流	12	15
	文化	3	
産業	商工観光	13	29
	産業誘致	9	
	農漁業	7	
行財政	施設	32	110
	都市整備	21	
	行政	14	
	財政	12	
	行政職員・議員	12	
	市民参加、協働、広聴	12	
	情報公開、広報	7	
高齢化		11	
空き家対策		8	
労働・雇用		5	
アンケート調査に関すること		11	
その他		49	

◇小中学生対象調査

第1章 調査の概要

1 調査の目的

泉南市では、みんなが安心して暮らしてつづけられるまちをつくるための計画（第6次泉南市総合計画）をつくっています。

本調査は、小中学生のみなさんが泉南市をどのように思っているか、これからどんなまちになってほしいかを答えていただき、ご意見を計画づくりに反映するために実施するものです。

2 調査設計

○調査地域：泉南市

○調査対象者：小学生…567人、中学生…545人

→市内小中学校に通学している小学5年生、中学2年生全員

○調査時期：令和3年2月～3月

○調査方法：学校を通じたWEB回答

3 回収結果

調査対象数 (A)	有効回収数 (B)	有効回収率 (B/A)
1,112	968	87.1%

4 報告書の見方

○回答結果の割合「%」は、小数点以下第2位で四捨五入したものです。このため、合計値が100.0%にならない場合があります。

○複数回答形式（2つ以上の選択肢を選ぶ形式）の場合、合計は100.0%を超えます。

○図表中の「不明・無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

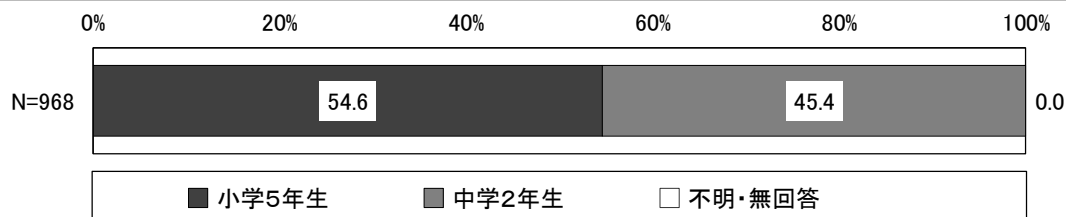
○図表中の「N」（サンプル数）は、有効標本数（集計対象者総数）、あるいは分類別の該当対象者数を示しています。

○本文中の設問の選択肢について、文字数が多いものは簡略化している場合があります。

第2章 調査の結果

問1 あなたの学年は次のどれですか。(〇は1つ)

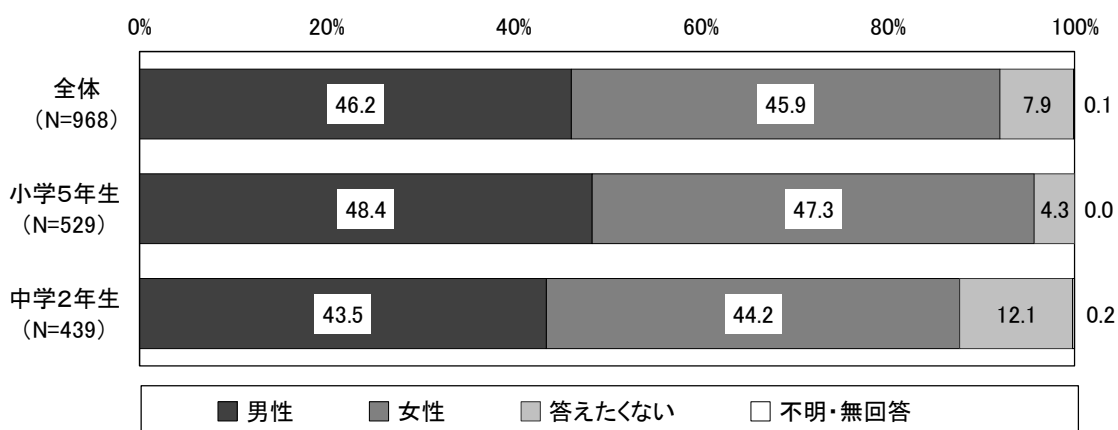
回答者の学年は、「小学5年生」が54.6%、「中学2年生」が45.4%となっています。



問2 あなたの性別は。(〇は1つ)

回答者の性別は、全体では「男性」が46.2%、「女性」が45.9%、「答えたくない」が7.9%となっています。

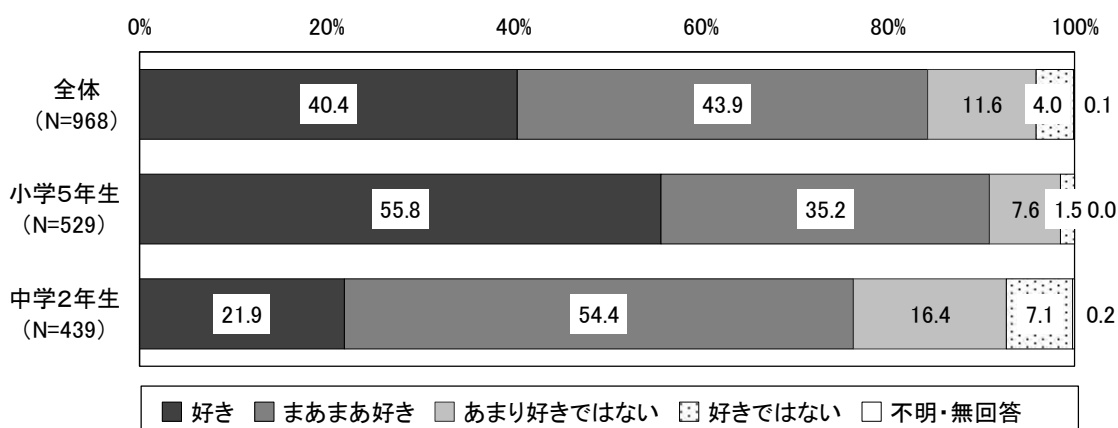
小中学生別にみると、小学生では「男性」、中学生では「女性」がそれぞれ最も高くなっています。「答えたくない」は、小学生では4.3%、中学生では12.1%となっています。



問3 泉南市が好きですか。(〇は1つ)

泉南市が好きかについてみると、全体では『好き』（「好き」「まあまあ好き」の合計）と回答した人は84.3%となっています。一方、『好きではない』（「あまり好きではない」「好きではない」の合計）と回答した人は15.6%となっています。

小中学生別にみると、『好き』では小学生が91.0%、中学生が76.3%と小学生が中学生を14.7ポイント上回っています。



問3で「好き」「まあまあ好き」と回答した人は「好きな理由」を、「あまり好きではない」「好きではない」と回答した人は「好きではない理由」を書いてください。

問3-1 好きな理由・好きではない理由はなんですか。(自由記述)

■好きな理由

好きな理由については、小学生 466 件、中学生 299 件、合計 765 件（『好き』と回答した人の 93.8%）の回答がありました。回答の要旨に基づき分類・整理した結果は以下の通りです。なお、ひとりの回答者が複数の理由を述べている場合は、それぞれに分類しました。

全体では、「自然があるから・程よく田舎だから」が 157 件と最も多く、次いで「人がやさしいから」が 92 件となっています。小中学生別にみると、小学生、中学生ともに「自然があるから・程よく田舎だから」が最も多くなっています。

内容	件数		
	小学生	中学生	全体
自然があるから・程よく田舎だから	93	64	157
人がやさしいから	77	15	92
生まれ育ったまちだから・慣れているから	64	17	81
暮らしやすいから・過ごしやすいから・落ちつくから	41	32	73
楽しいから・賑やかだから	43	18	61
いろんな施設や店があるから	36	20	56
イオンがあるから	27	24	51
治安が良いから・平和だから	21	22	43
知り合いがいるから	34	8	42
ロングパークがあるから	17	11	28
公園があるから・公園に近いから	24	3	27
遊ぶところがあるから	10	11	21
静かだから	12	8	20
行事・祭があるから	17	1	18
食べ物がおいしいから	15	2	17
好きだから	9	5	14
地域の人との交流があるから	8	6	14
災害が少ないから	5	2	7
不便でないから	4	2	6
まちがきれいだから	4	1	5
発展しているから	3	0	3
嫌いな理由がないから・なんとなく	2	19	21
特に理由はない	4	11	15
その他	21	24	45

■好きではない理由

好きではない理由については、小学生 43 件、中学生 95 件、合計 138 件（『好きではない』と回答した人の 91.4%）の回答がありました。回答の要旨に基づき分類・整理した結果は以下の通りです。なお、ひとりの回答者が複数の理由を述べている場合は、それぞれに分類しました。

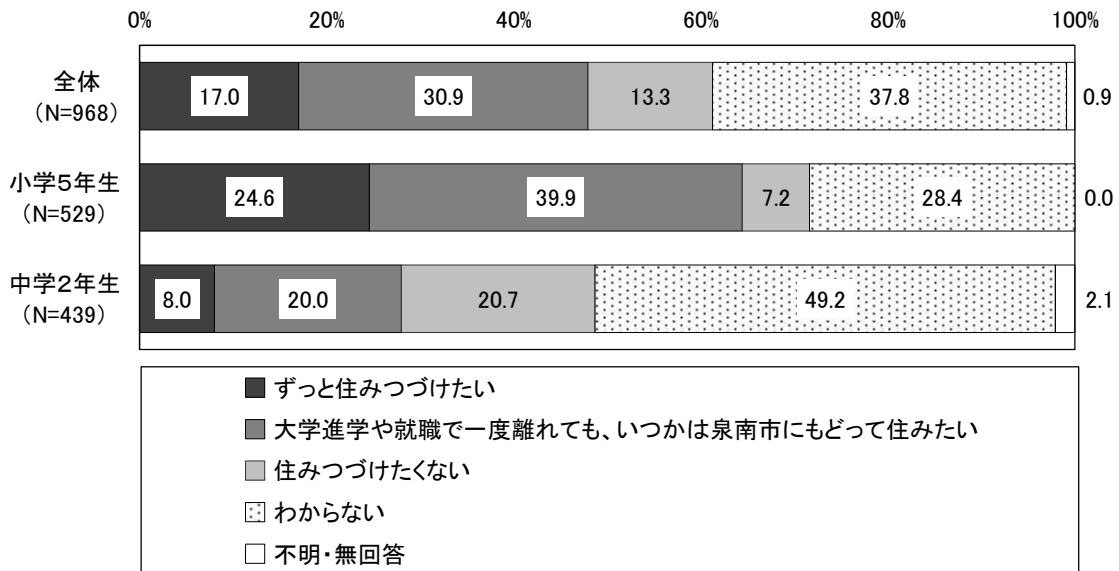
全体では、「治安が悪いから」が 24 件と最も多く、次いで「店や施設が少ない・ないから」が 20 件となっています。小中学生別にみると、小学生は「町や施設が綺麗でないから」、中学生は「治安が悪いから」がそれぞれ最も多くなっています。

内容	件数		
	小学生	中学生	全体
治安が悪いから	5	19	24
店や施設が少ない・ないから	6	14	20
田舎だから	5	13	18
まちや施設が綺麗でないから	8	3	11
何もないから	0	10	10
遊ぶところがない	0	10	10
良い所がないから	1	6	7
うるさいから	2	4	6
道が整備されていないから	1	5	6
コロナのため	5	0	5
不便だから	0	2	2
好きでないから	1	3	4
特に理由はない	1	3	4
その他	10	7	17

問4 あなたは、これからも泉南市に住みつづけたいですか。(〇は1つ)

今後の居住意向についてみると、全体では『住みたい』（「ずっと住みつづけたい」「大学進学や就職で一度はなれても、いつかは泉南市にもどって住みたい」の合計）と回答した人は47.9%となっています。一方、「住みつづけたくない」と回答した人は13.3%となっています。

小中学生別にみると、『住みたい』では小学生が64.5%、中学生が28.0%と小学生が中学生を36.5ポイント上回っています。



問4で「ずっと住みつづけたい」「大学進学や就職で一度はなれても、いつかは泉南市にもどって住みたい」「住みつづけたくない」と回答した人にお尋ねします。

問4-1 住みたい理由・住みたくない理由はなんですか。(自由記述)

■住みたい理由

住みたい理由については、小学生 328 件、中学生 106 件、合計 434 件（『住みたい』と回答した人の 93.5%）の回答がありました。回答の要旨に基づき分類・整理した結果は以下の通りです。なお、ひとりの回答者が複数の理由を述べている場合は、それぞれに分類しました。

全体では、「生まれ育ったまちだから・慣れているから」が 131 件と最も多く、次いで「住みやすいから・落ち着くから」が 92 件となっています。小中学生別にみると、小学生、中学生ともに「生まれ育ったまちだから・慣れているから」が最も多くなっています。

内容	件数		
	小学生	中学生	全体
生まれ育ったまちだから・慣れているから	96	35	131
住みやすいから・落ち着くから	41	17	58
友達や知り合いがいるから	50	3	53
自分の家・実家があるから	31	5	36
自然があるから・田舎だから	27	8	35
泉南市が好きだから	19	6	25
楽しいから	15	8	23
思い出があるから	16	1	17
施設・遊ぶところがあるから	13	4	17
人がやさしいから	15	0	15
平和だから、安全・安心だから	12	2	14
市外に出るのが不安だから	7	2	9
静かだから	3	5	8
災害が少ないから	2	0	2
わからない・答えたくない・特になし	3	2	5
その他	24	13	37

■住みたくない理由

住みたくない理由については、小学生 36 件、中学生 87 件、合計 123 件（「住みつづけたくない」と回答した人の 95.3%）の回答がありました。回答の要旨に基づき分類・整理した結果は以下の通りです。なお、ひとりの回答者が複数の理由を述べている場合は、それぞれに分類しました。

全体では、「違うところに住みたいから」が 34 件と最も多く、次いで「都会に住みたいから」「やりたいこと（夢）があるから」がともに 15 件となっています。小中学生別にみると、小学生、中学生ともに「違うところに住みたいから」が最も多くなっています。

内容	件数		
	小学生	中学生	全体
違うところに住みたいから	14	20	34
都会に住みたいから	2	13	15
やりたいこと（夢）があるから	8	7	15
何もないから	1	13	14
田舎だから	5	8	13
同じところに住み続けたくない	6	3	9
治安が悪いから	3	6	9
便利なところがよいから	0	6	6
働きにくいから	1	4	5
町が綺麗でないから	1	2	3
やりたいことができないから	0	2	2
なんとなく・特になし	1	3	4
その他	1	4	5

問5 将来、あなたが就きたい仕事はなんですか。(思いつくものすべてを書いてください)

将来、就きたい仕事については、小学生 495 件、中学生 340 件、合計 835 件（回収数の 86.2%）の回答がありました。回答の要旨に基づき分類・整理した結果は以下の通りです。なお、ひとりの回答者が複数の将来、就きたい仕事を述べている場合は、それぞれに分類しました。

全体では、「スポーツ選手」「会社員」がともに 54 件と最も多く、次いで「保育士」が 53 件となっています。小中学生別にみると、小学生は「スポーツ選手」、中学生は「会社員」「美容師」がそれぞれ最も多くなっています。

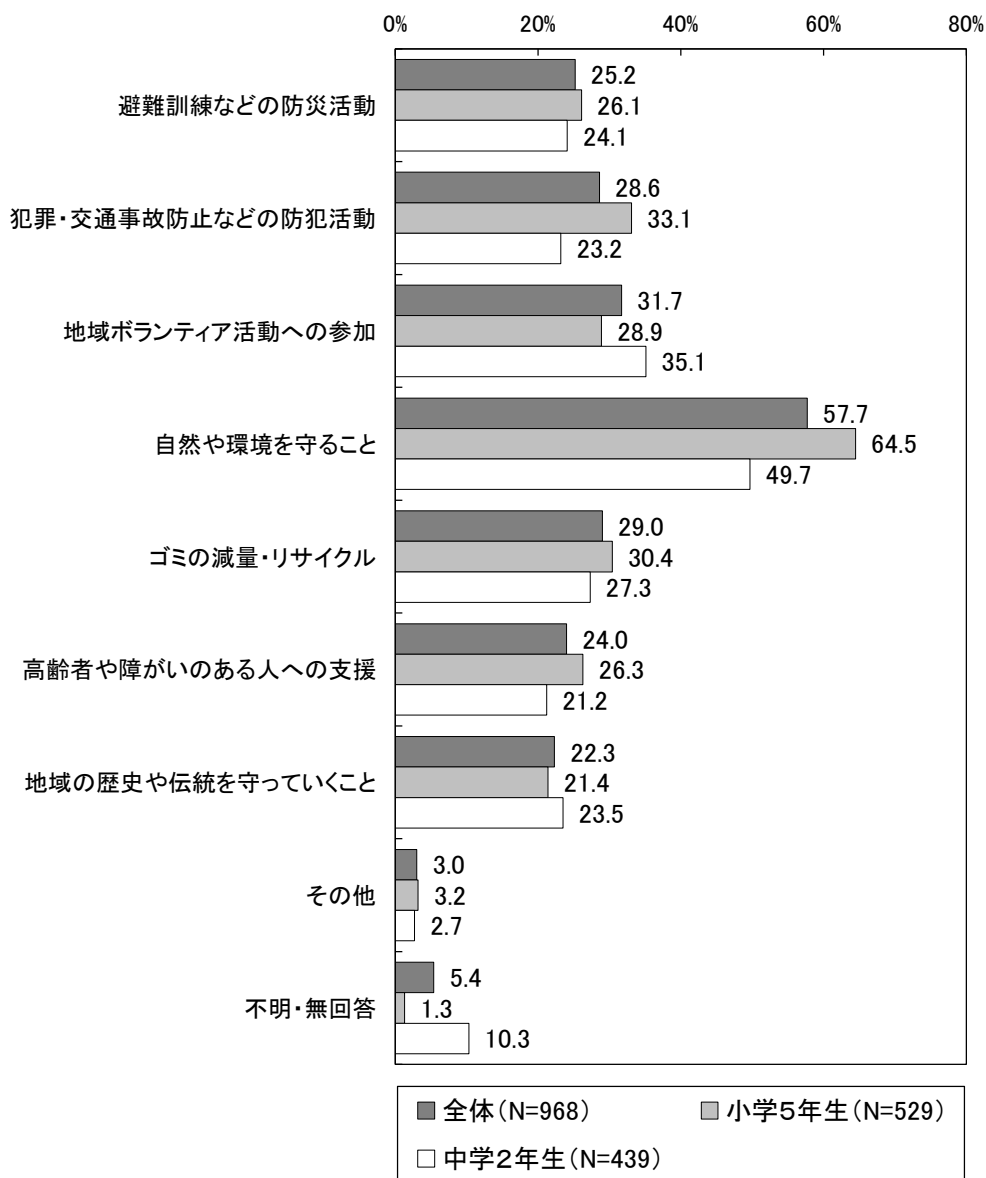
内容	件数		
	小学生	中学生	全体
スポーツ選手	40	14	54
会社員	35	19	54
保育士	36	17	53
看護師	31	16	47
美容師	23	19	42
ユーチューバー・ストリーマー等	31	7	38
教育関連(教師・講師)	22	12	34
ゲームクリエイター	21	8	29
医師	24	5	29
大工・とび職	15	12	27
パティシエ・菓子店	19	7	26
イラストレーター・画家	13	12	25
サッカー選手	16	7	23
動物関係(トリマー・トレーナー・ペットショップ等)	11	11	22
タレント(歌手・女優・モデル・芸人・アナウンサー)	20	2	22
飲食店・料理人	18	4	22
公務員	7	12	19
IT 関係	8	11	19
漫画家	13	5	18
声優	6	9	15
警察官	13	2	15
薬剤師	7	7	14
動物園・水族館の飼育員	13	1	14
建築士・建築家	10	4	14
野球選手	12	0	12
デザイナー	11	1	12
ダンサー(ダンスの講師)	7	5	12
音楽関係(音楽家・講師)	5	7	12
美容関係(メイク・ネイル)	4	6	10
獣医師	8	2	10
介護士(福祉関係)	5	5	10
人の役に立つ(助ける)仕事	4	4	8
消防士	5	3	8
プログラマー・エンジニア	2	5	7
パン屋	3	4	7
スポーツ関連(指導者・トレーナー等)	2	5	7
コンビニ・商業施設	3	4	7
洋服店	5	1	6

内容	件数		
	小学生	中学生	全体
プログラマー	6	0	6
楽しい・好きな仕事	0	6	6
キャビンアテンダント	5	1	6
鉄道関係・運転士	2	3	5
テーマパークキャスト(東京ディズニーランド・USJ)	2	3	5
専業主婦・母親	2	3	5
学者・博士	4	1	5
アニメ関連	1	4	5
花店・植物関係	3	1	4
図書館司書・司書	2	2	4
高収入(儲かる)	2	2	4
経営者・起業家	0	4	4
クリエイター(編集・写真)	2	2	4
演劇関係(映像・舞台)	0	4	4
弁護士	1	2	3
整備士	3	0	3
スタイリスト	2	1	3
助産師	1	2	3
小説家・作家	1	2	3
歯科技師・歯科衛生士	1	2	3
自衛隊	2	1	3
家業・親の仕事	1	2	3
医療関係	1	2	3
安定した職	0	3	3
農業	0	2	2
通訳	2	0	2
心理学者	1	1	2
修理工	1	1	2
宗教関連	1	1	2
救急救命士	1	1	2
海外で仕事	1	1	2
栄養士	1	1	2
宇宙関連	2	0	2
その他	16	24	40
決まっていない・今はない・考え中	23	16	39
特にない	8	28	36
わからない	17	8	25

問6 自分たちが地域で取り組みたいことはなんですか。(3つまで○)

自分たちが地域で取り組みたいことについてみると、全体では「自然や環境を守ること」が57.7%と最も高く、次いで「地域ボランティア活動への参加」が31.7%、「ゴミの減量・リサイクル」が29.0%となっています。

小中学生別にみると、「犯罪・交通事故防止などの防犯活動」では9.9ポイント、「自然や環境を守ること」では14.8ポイント、それぞれ小学生が中学生を上回っています。



問7 あなたが泉南市の市長だとしたら、どんなまちをめざしますか。(自由記述)

泉南市の市長だとしたら、どんなまちをめざすかについては、小学生 509 件、中学生 363 件、合計 872 件（回答した人の 90.1%）の回答がありました。回答の要旨に基づき分類・整理した結果は以下の通りです。なお、ひとりの回答者が複数の理由を述べている場合は、それぞれに分類しました。

全体では、「みんなが幸せに暮らせるまちづくり」が 163 件と最も多く、次いで「事故・犯罪のない平和なまちにする」が 157 件となっています。小中学生別にみると、小学生は「事故・犯罪のない平和なまちにする」、中学生は「みんなが幸せに暮らせるまちづくり」がそれぞれ最も多くなっています。

内容	件数		
	小学生	中学生	全体
みんなが幸せに暮らせるまち	105	58	163
事故・犯罪のない平和なまち	118	39	157
住みやすい・暮らしやすいまち	57	48	105
ゴミがない、美しくきれいなまち	58	42	100
安心・安全なまち	42	30	72
自然を守り、自然が豊かなまち	49	20	69
みんながともに助け合える・支え合えるまち	27	4	31
環境を守る、環境のよいまち	23	5	28
買い物や遊びに行く場所を増やす	6	14	20
子どもが暮らしやすいまち	9	9	18
いいまちにする	3	12	15
高齢者の方や障がいのある方が安心して暮らせるまち	11	2	13
にぎやかで活気のあるまち	5	8	13
いじめのないまち	9	1	10
平等で差別のないまち	6	3	9
便利なまちにする	5	3	8
歴史や伝統・文化を大切にする	5	3	8
都会にする	4	3	7
観光客がたくさん来るまち	5	2	7
学校環境や教育を充実させる	3	4	7
規則やルールを守れるまち・不正のないまち	5	2	7
公園をつくる	3	3	6
泉南市の知名度・認知度を上げる	2	4	6
魅力あるまち、素敵なまち	4	2	6
豊かなまちにする	4	1	5
祭りやイベントを開催する	4	1	5
好きと思えるまちにする	1	3	4

内容	件数		
	小学生	中学生	全体
道路や交通環境を整備する	1	3	4
市民の意見をまちづくりに生かす	1	3	4
誰もが訪れたいまち	2	1	3
過疎化を防ぎ、人口を増やす	1	2	3
有名人が訪れるまち	2	1	3
他の県や市がしないことをする	2	1	3
市長として働く	2	0	2
合併する	0	2	2
市の財政を立て直す	0	2	2
ずっとこのまちにいたいと思えるようにする	2	0	2
公共の施設などを充実させる	0	2	2
なりたくない・市長を辞める	2	6	8
わからない・知らない	5	10	15
今のままでよい	2	4	6
その他	33	26	58